(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月29日

長崎県知事 殿

提出者

住所 福岡県福岡市中央区渡辺通4-10-10 氏名 株式会社熊谷組 九州支店 支店長 山下 正治 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-721-0158

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社熊谷組 九州支店				
事業場の所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通4-10-10				
計画期間	令和7年4月1日~令和8年3月31日				
当該事業場において現に行っている事業に関する事項					
①東 娄 の 稀 粨	06、炒入油部类				

①事業の種類	06 総合建設業
②事 業 の 規 模	元請完成工事高:34,124百万円
③従 業 員 数	197人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
	(管理体制図)							
	別添2 管理体制図のとおり							
産業	L 美廃棄物の排出の抑制	 川に関する事項						
		【前年度(令和6年度)						
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	_				
		排 出 量	t	t				
	①現状	(これまでに実施した耳						
		・ISO14001に係 育を行っている。	系る取り組みの中で廃棄物	7の適止処埋に関する教				
			は協力業者を対象として親 よらびに分別の教育指導を					
		・余剰資材の発生しない	・資材搬入管理を行う。					
			考慮した資材の発注を行う)。				
		【目標】	<u>T</u>	Γ				
		産業廃棄物の種類 	別紙集計表のとおり	_				
		排出量	t	t				
	②計画	(今後実施する予定の耳	, ,					
		・今後も現状の取組み	を維持して行く。					
産業	 廃棄物の分別に関す 	T						
		(30,000 = 0	匿物の種類及び分別に関す それ以外の廃棄物を分別す	- v,—,				
	C = 1 1 1 1	・コンクリート破片、7	アスファルト・コンクリー	ト破片、木くず、金属				
	①現状	【くす、紙くす(段ボール 】する。	レ)、廃プラスチック類に	こついては、分別を徹底				
		・現場作業員の生活系列 接工事から排出される列	経棄物(生ゴミ、新聞なと 経棄物と分別する。	ごの一般廃棄物)は、直				
		(今後分別する予定の産	業廃棄物の種類及び分別	 に関する取組)				
		・今後も現状の取組みを	維持して行く。					
	②計画							

自身	っ行う産業廃棄物の再	再生利用に関する事項		
		【前年度(令和6年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	_	_
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	t
	①現状	(これまでに実施した取	文組)	
		特になし。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	_
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	文組)	
		特になし。		
<u> </u>	、行る立世成を始める	カ明 伽 畑)ヶ明 よっ 市 酒		
	つ仃り座業廃業物の「	中間処理に関する事項 【前年度(令和6年度)	宇結】	
		産業廃棄物の種類	大順	
			_	_
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t
		(これまでに実施した耳	文組)	•
		特になし。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	_	_
		自ら熱回収を行う	— t	- t
		産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する	+	— t
	②計画	産業廃棄物の量	- t	_ t
		(今後実施する予定の取り 特になし。	X 組 <i>)</i>	
		3. 2.0		
1				

自ら	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
		【前年度(令和6年度)	実績】						
		産業廃棄物の種類	_	_					
	() and (1)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	t					
	①現状	(これまでに実施した取特になし。	z組)						
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	_	_					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	t					
	②計画	(今後実施する予定の取組)							
		特になし。							
産業	美廃棄物の処理の委託	・ とに関する事項							
		【前年度(令和6年度)	実績 】						
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり						
		全処理委託量	t	t					
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t					
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t					
	(OrtHall)	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t					
	①現状	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t					
		(これまでに実施した取							
		・ 分別を徹底し混合廃 ・アスファルト・コンク	棄物の発生を抑制する。 リートについては、再資	源化施設を有する産業					
		廃棄物処理業者に処理を							
		利用できない場合は、再							
		を委託する。 ・ 木くずについては、3	分別を徹底し、再資源化	施設を有する産業廃棄					
		物処理業者に処理を委託	とし、チップ化、堆肥化、	固形燃料化などを行う					

(第5面)

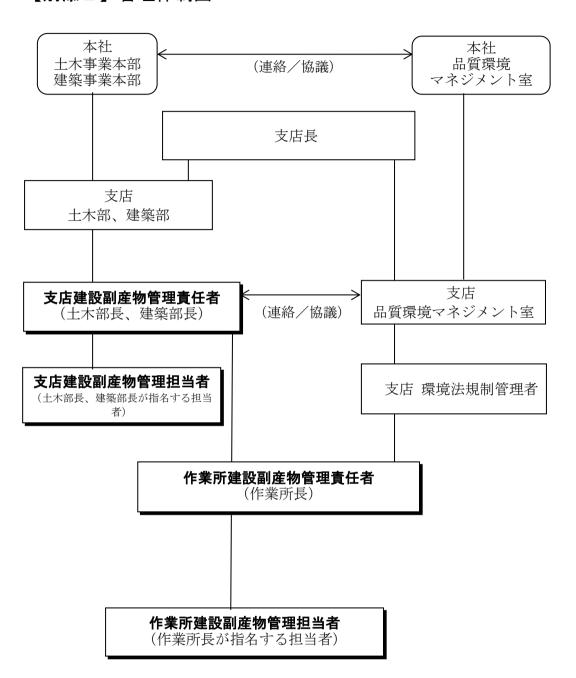
		/皿/	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取・今後も現状の取組みを)		
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

発生排出状況

工種別の廃棄物				→ 製紙メーカー 再生紙
《準備・仮設工事》	WOOD *		再資源化施設	動物の寝わら
(1) 代開除根工事 伐採材/除根材	3	① 木くず		→ メーカー ハ°-ティクルボード
(2) 既設構造物撤去工事 アスコン塊 (舗装) ②		D #\\9	中間処理施設	→
アスコン塊 (舗装) ② コンクリート塊 (糠壁等) ③ ブロック等 (2次製品) ④			接却処分	EMATE AND I MULTIPLE
(3) 仮設工事			再資源化施設	★ 再生アスコン
(3) <u> </u>	CONCRETE	シアスコン塊	一一門処理施設	
<u>電線</u> <u>8</u> 段ポール 9	TANK TO THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF TH		再資源化施設 中間処理施設	再生碎石
ブルーシート/土のう袋 (II) 発泡スチロール (梱包用) (III)	(3)	ションクリート塊	中间处理施設	
《掘削·基礎工事》		4) ガラス・陶磁器くず	+ 88 by ym 45 = 0	→ 再生ずり
① ① ④	GLASS BOTTLE	TO TA PHIN RANTHER C. 9	中間処理施設 埋立処分	
セメント系固化材のトン袋 ④ 廃棄泥水/泥水混り掘削土など ⑪	ROCKWOOL BOARD 5)ALC板	(広域再生利用指定制度)	◆【メーカー引取り(大臣指定) → ALC板
(アースドリル/SMW/リバース)		Dubb IIII ##	(広域再生利用指定制度)	◆メーカー引取り(大臣指定) □ックウール吸音
《 躯体工事》 さん木/ばた角 ①		ロックウール吸音板	(四处开上作)用3日足则汉/	[27] 1907 (人民日本/]
型枠用合板 ① ALC版の端材 ④⑤	GYPSUM BOARDS	2 1, 1,	(広域再生利用指定制度)————————————————————————————————————	メーカー引取り(大臣指定) 石膏ボード
番線くず、鉄筋端材 ® 紙ボイド 9		⑦ 石膏ボード	中間処理施設	セメントメーカー セメント
プラ面木/プラ目地棒 ⑩			埋立処分	
《建築工事》 (1) <u>仕上工事</u> 木工事の木くず ①	ALUMINUM CAN		古物商(専ら物の回収)	平炉鋼材
ホエザンが、、。 コンクリートなどのはつりくず ④ タイル/陶器/ガラスの端材 ④	ELECTRIC WIRE	③ 金属くず	スクラップ工場	# 精錬工場
ロックウール吸音板 (4)6 石膏ボードの端材 (7)	金属		中間処理施設	SIGN 215 M.
<u> </u>	3		古物商	The first
軽鉄 (軽量鉄骨下地) 8 壁紙/クロス (10)	CORRUGATED PAPER		(専ら物の回収)	— 再生紙 製紙メーカー
・	9	① 紙くず	中間処理施設	C. E. I.
(2) 設備・外構・屋根工事事			<u> </u>	
U字溝、ブロック等の端材 4 養生材(ガラス繊維) 4	PVC PIPE ½		ペットボトル	→ <u> </u>
ダクト端材 8 配管塩ビ端材 10	FOAM STYROL 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 20		→ 中間処理施設 <u>発泡スチロール</u> 再生樹脂工士	再牛発泡スチロ━ル╱軽量骨材. 排水材
防水シート ⑩	京	J	<u> </u>	パレット/プラ杭/カラーコーンの重し
《土木工事》 セグメントシール材 ⑪				
廃棄泥水/泥水混り掘削土など ① (泥水シールド工法など)			<u> </u>	→ <u>レキ. 砂</u> <u>セメントメーカー</u> <u>セメント</u>
脱水ケーキ(濁水処理プラント) ①			中間処理施設 (売却) (売却)	→ <u> </u>
《一般廃棄物》 ジュース缶 (スチール/アルミ) ⑧ 新聞紙/コピー用紙 ⑨		① 建設汚泥	埋立処分	
新聞献/ コヒー州献 (9) コンビニ弁当箱/ペットボトル (10) ゴム手袋 (10)			(再生利用個別指定制度) (再生利用認定制度)	☆ 一
~~TX (U)	`			

【別添2】管理体制図



現状:前年度(令和6年度)実績量

計画:今年度(令和7年度)計画量(目標) 単位:トン

	□□.7十	及(宣和7年	下/文/ 山 邑 ョ	主(口/示/														単位: Γ✓		
	排出	抑制				自ら行う	中間処理		4 > m 4.	(n ()) 1					処理の	の委託				
産業廃棄物の種類	排出	出量	自ら再生 行った(自ら熱 行った(自ら中間が減量した		自ら埋立た 海洋投力 行った(処分を	全処理	委託量	優良認定処 処 理 🦸	理業者への 兵 託 量		業者への 委託 量	認定熱回収 理 委	双業者への 兵 託 量	認定熱回収 熱回収を行 処 理 委	う業者への
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	640.75	576.68	_	_	_	_	_	_	_	_	640.75	576.68	640.75	576.68	640.75	576.68	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	0.51	0.46	_	_	_	-	_	_	_	_	0.51	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	170.28	153.25	1	-	-	_	-	_	-	_	170.28	153.25	122.85	110.57	170.28	153.25	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	17.61	15.85	_	_	_	-	_	_	_	_	17.61	15.85	15.21	13.69	17.61	15.85	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	589.05	530.15	-	_	_	l	-	1	-	_	589.05	530.15	482.35	434.12	589.05	530.15	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	6.10	5.49	_	_	_	_	_	_	_	_	6.10	5.49	6.10	5.49	6.10	5.49	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	2,135.22	1,921.70	_	_	_	_	_	_	_	_	2,135.22	1,921.70	1,944.30	1,749.87	2,135.22	1,921.70	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	1,045.22	940.70	_	_	_	_	_	_	_	_	1,045.22	940.70	1,045.22	940.70	1,045.22	940.70	0.00	0.00	0.00	0.00
その他がれき類	62.01	55.81	_	_	_	_	_	_	_	_	62.01	55.81	62.01	55.81	62.01	55.81	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(安定型)	8.84	7.96	_	_	_	-	_	-	_	_	8.84	7.96	0.00	0.00	8.84	7.96	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	0.39	0.35	_	_	_	_	_	_	_	_	0.39	0.35	0.00	0.00	0.39	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00
															-					
合計	4,675.98	4,208.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4,675.98	4,208.40	4,318.79	3,886.93	4,675.47	4,207.94	0.00	0.00	0.00	0.00
ПНІ	.,0,0.00	,	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	5.50	2.30	.,0.0.00	.,	.,0.00	-,000.00	.,	,,,,		5.50	5.50	5.50

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 1日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

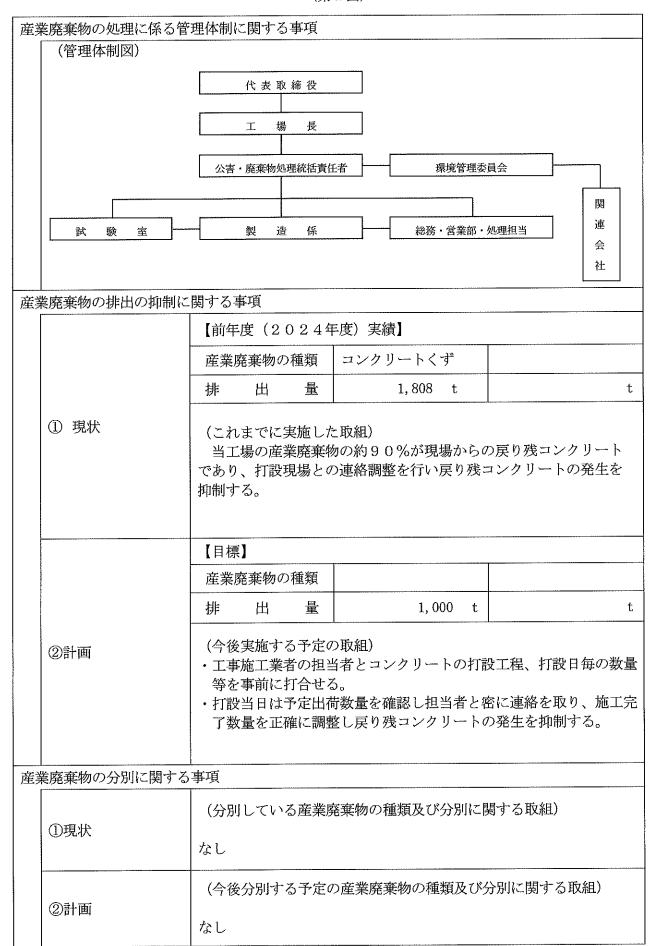
提出者

住 所 佐賀県伊万里市東山代町長浜2150番地1 氏 名 株式会社 古賀物産 代表取締役 古賀政博 電話番号 0955-23-4188

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社 古賀物産 コガ生コン諫早工場
事	業場の所在地	長崎県諫早市飯盛町佐田1041-1
計	画 期 間	2025年 5月 1日 ~ 2026年 3月 31日
当計	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	E21窯業・土石製品製造
	②事業の規模	前年度出荷実績 1,808 m³
	③ 従 業 員 数	15人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	残コンクリート 中間処理場(破砕) 工場 敷均し固化作業 再 生 処 理 運 搬

(日本工業規格 A列4番)



自ら行う産業廃棄物の再	手生利用に関する事項					
	【前年度(2024年度)実績]				
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t			
	(これまでに実施した取組)					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
⊘≇रक्त	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t			
②計画	(今後実施する予定の取組)					
自ら行う産業廃棄物の中	中間処理に関する事項 					
	【前年度(2024年度)実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t			
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t			
	(これまでに実施した取組)					
TOTAL CONTRACT OF THE CONTRACT						
	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t			
②計画	産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t			
	(今後実施する予定の取組)					
		·				

自ら行う産業	廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に	関する事項	
		【前年度(2024年度)実績】	
		産業廃棄物の種類		
① 現状		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	1,808 t	t
		(これまでに実施した取	(組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
②計画		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
産業廃棄物の)処理の委託に	(今後実施する予定の取 関する事項	.組)	
		【前年度(2024年度	*) 実績】	
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	1,808 t	t
1		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
L L SAN AND THE TOTAL THE		再生利用業者への 処理委託量	1,808 t	t
① 現状		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
1000		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取 中間処理業者へ処理(A RC-40)として100%再利)	皮砕)を委託し再生砕石	石 (再生クラッシャーラン

(第5面)

	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取終 中間処理業者への処理(ランRC-40)として100%再	破砕)を委託し再生研	卆石(再生 クラッシャー
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の 種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入 すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、 「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 24日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎県五島市大円寺町6番1号

氏 名

五島技建工業株式会社

代表取締役 今村 秀信

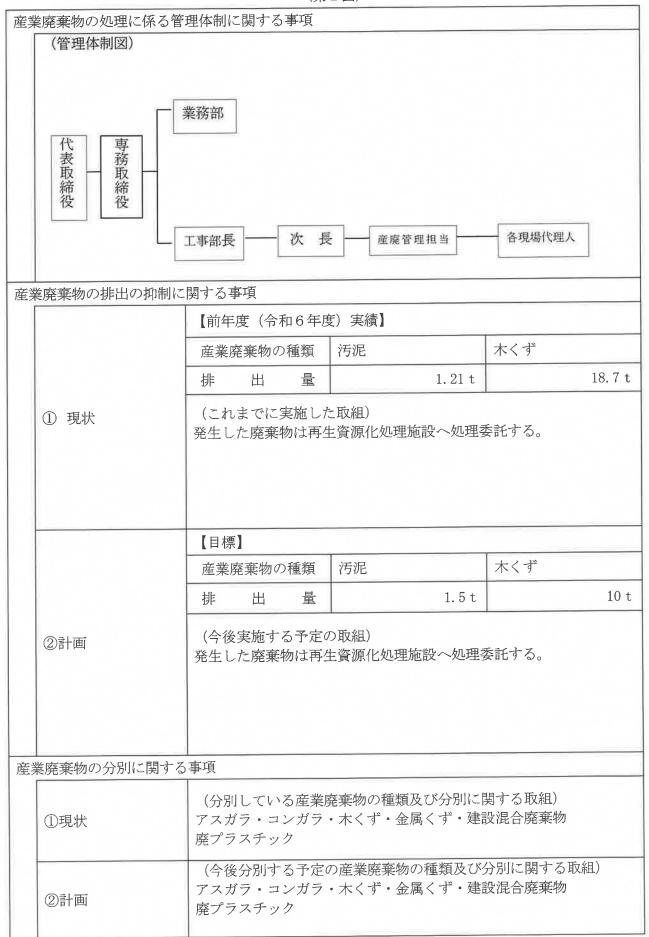
電話番号

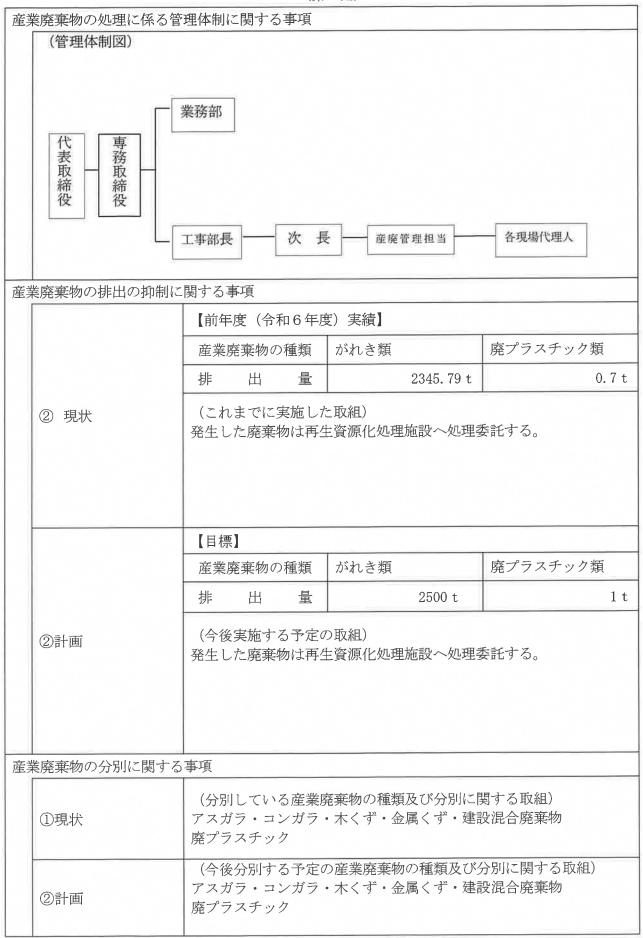
0959-72-2928

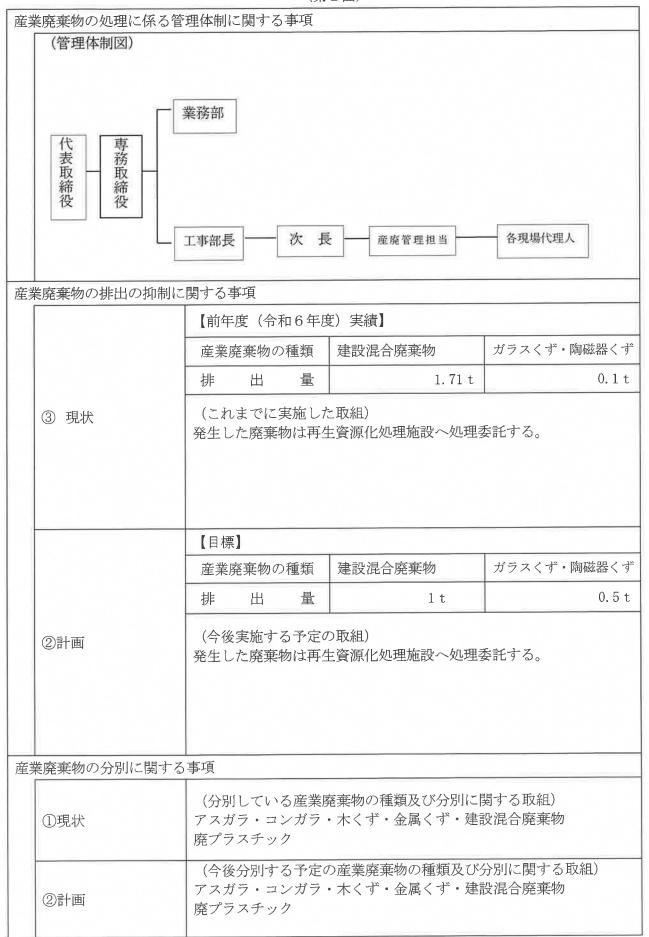
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	五島技建工業株式会社					
事	業場の所在地	長崎県五島市大円寺町6番1号					
計	画 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日					
当該	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項					
	①事業の種類	建設業					
	②事業の規模	¥240,000,000-					
	③ 従 業 員 数	20人					
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	 発生源 廃棄物 処理・処分 おれき類					

(日本産業規格 A列4番)







廃棄物の埋立	で処分又は海洋投入処分	に関する事項				
	【前年度(令和6年度	度) 実績】				
	産業廃棄物の種類					
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t			
		二取組)				
	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t			
処理の委託に						
	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず			
	全処理委託量	1.21 t	18.7 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t			
	再生利用業者への 処理委託量	1. 21 t	18.7 t			
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t			
	発生した廃棄物は再生	と 資源化処理施設へ処理を	を委託する。			
)処理の委託に	【前年度(令和6年度 産業のの種類 自ら対した。 産業のの分子のた。 産業のの分子のの量 (これまでに実施した) 産業のの一般では、 海洋投入のででは、 は海洋投入のでででは、 は海洋投入のででででででででででででである。 (今後実施する予定の) の処理の委託に関する事項 (今の一種類 全処の要素に、 を実施の種類 全処の要素に、 を主要を、 を主要を、 のののででででで、 を主要を、 を表表に、 のののででで、 のののででで、 のののででで、 のののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののででで、 ののででで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののででで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 ののでで、 のので、 ののでで、 ののでで、 のので、 ののでで、 のので、 ののでで、 のので、 ので、	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量			

(Д) С Ш)				
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず	
	全処理委託量	1.5 t	10 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	
	再生利用業者への 処理委託量	1.5 t	10 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
	(今後実施する予定の発生した廃棄物は再生分別を徹底し、発生を	と 資源化処理施設へ処理を	を委託する。	
※事務処理欄				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
	【前年度(令和6年度	要) 実績】				
	産業廃棄物の種類					
② 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t			
	(これまでに実施した	三取組)				
	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t			
	(今後実施する予定の)取組)				
	-					
産業廃棄物の処理の委託	Eに関する事項					
	【前年度(令和6年度	度)実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック			
	全処理委託量	2345. 79 t	0.7 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t			
	再生利用業者への 処理 委託 量	2345. 79 t	0.7 t			
② 現状	認定熱回収業者への処理委託量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t			
	(これまでに実施した発生した廃棄物は再生分別を徹底し、発生を	上資源化処理施設へ処理を	を委託する。			

(第5面)

	(NI)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	2500 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2500 t	1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	1
	(今後実施する予定の 発生した廃棄物は再生 分別を徹底し、発生を	と 資源化処理施設へ処理を	を委託する。

自引	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
		【前年度(令和6年度	三) 実績】				
		産業廃棄物の種類					
	③ 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t			
		(これまでに実施した	上取組)				
		【目標】					
		産業廃棄物の種類					
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t			
		(今後実施する予定の)取組)				
産業	養廃棄物の処理の委託に	関する事項					
		【前年度(令和6年度	E)実績】				
		産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	ガラスくず・陶磁器くず			
		全処理委託量	1.71 t	0.1 t			
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t			
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.71 t	0.1 t			
	③ 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t			
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t			
		(これまでに実施した	と 資源化処理施設へ処理	を委託する。			

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	ガラスくず・陶磁器くず
	全処理委託量	1 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1 t	0.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の 発生した廃棄物は再生 分別を徹底し、発生を	上資源化処理施設へ処理を	を委託する。
※事務処理欄			

(第6面)

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所

福岡市博多区博多駅東2-7-27

氏 名

五洋建設株式会社 九州支店

執行役員支店長 矢ケ部 恭弘

電話番号 092-475-5485

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	ļ (カ	名	称	五洋建設株式会社 九州支店
事	業	場	の	所	在	地	福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目7番27号
計		画		期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当計	亥事	業場	にま	3/1,	て現	に行	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	建設業・総合工事業
	2	事	業	の	規	模	支店完工高 164, 654百万円/年
	3	従	¥	48	員	数	452人 (2025年3月31日現在)
		産業の処				一連	工事現場

(日本産業規格)

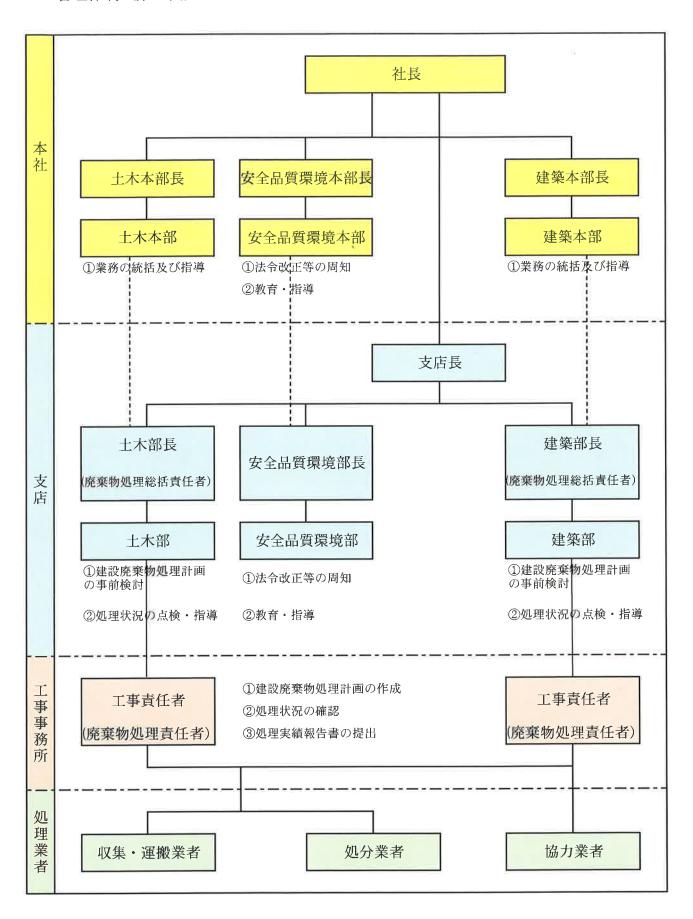
産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
	(管理体制図)							
	別紙1による							
لد مواب		日日 一十 ファ	有 证					
座頭 	業廃棄物の排出の抑制に 			e c Æ	こ、 けかをまる			
	<u>.</u>				ぎ)実績】			
		産業	発棄物の		別紙2による			
		排	出	量	t	t		
	① 現状	設計	までに ・及び施 している	工計画段	と取組) 设階で廃棄物の発生抑制を	を考慮した工法、資材等		
			<u> </u>					
	:		廃棄物の	種類	別紙2による			
	(2)	排	出	量	t	t		
	②計画							
産業	業廃棄物の分別に関する	事項						
		(分別	」してい	る産業層	廃棄物の種類及び分別に	関する取組)		
	①現状・廃棄物の分別を徹底している。							
	②計画	(今後	受分別する	る予定の	の産業廃棄物の種類及び	分別に関する取組)		
	WI M	・今後とも積極的に廃棄物の分別に取り組んでいく。						

自ら行	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
		【前年度(令和6年度)実績】					
	① 現状	産業廃棄物の種類					
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 t					
	S 750 W	(これまでに実施した取組)					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類					
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 t t					
		(今後実施する予定の取組)					
		_					
自ら行	行う産業廃棄物の中間						
		【前年度(令和6年度)実績】					
		産業廃棄物の種類					
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 t					
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 t t					
		(これまでに実施した取組)					
		_					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類					
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 t t					
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量					
		(今後実施する予定の取組)					
		=					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
【前年度(令和6年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	-				
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t			
	(これまでに実施した取組)				
	_					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t			
	(今後実施する予定の取組)				
	 -					
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項					
	【前年度(令和6年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	別紙2による				
	全処理委託量	t	t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t			
	再生利用業者への 処理 委託量	t	t			
① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t			
	(これまでに実施した取組)				
	・可能な限り再生利用を行	う処理業者に委託している。				

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2による	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の・今後とも可能な限り)取組))再生利用を行う処理業者	音に委託する。
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



産業廃棄物処理計画書(第2面~第5面)別紙 2

主業廃棄	建物処埋計画書(第2面~第5面) 別》	批 2							単位:トン(
	【前年度(平成6年度)実績】						214 114	の種類	排
		汚泥	廃プラスチックを	木くず	がれき類	コンクリートがこ	型のみ)混合廃棄物(安定	型含む)湿合廃棄物(管理	量合
2. 表 表 表 2	物の排出の抑制に関する事項		類	V 1		6	疋	理	計
		16	28	31	1,132	2,470	29	1	3,70
①現状		10	10	10	1,132	400	10	10	45
②計画	排出軍 産業廃棄物の再生利用に関する事項	10	10	10	0	400	10	10	40
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
	産業廃棄物の中間処理に関する事項								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
以現状	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
ØñT⊞	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
ら行う	産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関	する事項							
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	
全業廃棄	物の処理の委託に関する事項								
	全処理委託量	16	28	31	1,132	2,470	29	1	3,70
	優良認定処理業者への処理委託量	16	0	0	0	0	0	0	
①現状	再生利用業者への処理委託量	16	0	31	0	2,470	0	0	2,5
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への 処理委託 量	0	0	0	0	0	0	0	
	全処理委託量	10	10	10	0	450	10	10	50
1	優良認定処理業者への処理委託量	10	10	10	0	50	10	10	10
②計画	再生利用業者への処理委託量	10	10	10	0	450	0	0	48
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	

出什. ト・(+)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月11日

長崎県知事 殿

提出者

住所 長崎県長崎市興善町2番8号 氏名 株式会社 西海建設 代表取締役 寺澤孝憲 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 095-825-1413

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 西海建設				
事業場の所在地	長崎県長崎市興善町2番8号				
計 画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日				
当該事業場において現に行っている事業に関する事項					
①事業の種類	総合建設業				
②事 業 の 規 模	令和6年度元請完成工事高 1,419,283万円				
③従 業 員 数	2 2 4 名				
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	①廃棄物処理方針を立てる ②発注者及び処理業者と事前に十分な打合せを行う ③建設廃棄物の発生量を予測する ④施工方法、資材を検討し廃棄物の発生を抑制する ⑤発生するものについては、出来るだけ再生処理による減量化を図る ⑥再生利用できない場合には、中間処理による減量化を検討する ⑦廃棄物として処分するものについては、適正な保管・収集運搬・処分の方法を選定する ⑧処理方法に応じた現場内での分別方法について検討する ⑨処理を委託する場合には、委託する処理業者の許可内容などを確認する				

(日本産業規格 A列4番)



業廃棄物の処理に	こ係る管理体制に関する事項								
(管理体制図)	Halliss on 1 do to		3						
別添2 管理体	制図のとおり								
-			5 <u> </u>						
-									
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *								
業廃棄物の排出 <i>0</i>	D抑制に関する事項 	- 100							
	【前年度(令和6年度)	【前年度(令和6年度)実績】							
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	x						
	排 出 量	t	t						
2 2 2 2	(これまでに実施した)	[[元] [[元] [[元] [[元] [[元] [[元] [[元] [[元]							
①現状	1)排出抑制	(X 心口.)							
		で、施主及び発注者元請業	*者と十分に検討を行						
	い、協議・承認を交わし								
_	2) 減量化対策	re a faller of the latest	2						
	役割分担の明確化と意識	畿の高揚、地元・地域施設	さへの遠元						
=	N N								
44 B	【目標】		F-1						
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	-						
<	排出量	t t	w w						
(a) 1 T	(今後実施する予定の)								
②計画	1) 排出抑制	1X 11117							
	設計及び施工計画段階	で、施主及び発注者元請第	巻者と十分に検討を行						
	い、協議・承認を交わ	し計画を策定する。							
	2) 減量化対策		n						
4	役割分担の明確化と意	識の高揚、地元・地域施設	えへの遠元						
業廃棄物の分別に	こ関する事項	1							
	(公別) ている産業感	乗物の種類及び分別に関する。	ナス取組)						
,	1. 再生利用などによる ・再生可能品目の分	減量化を含めた分別に努め ご	00						
①現状	・一般廃棄物の分別	ניס							
1961X	・中間処理に適合し	た分類							
	・安定型廃棄物とそ								
	(今後分別する予定の第	 賃業廃棄物の種類及び分別	に関する取組)						
-	1. 再生利用などによる ・再生可能品目の分	減量化を含めた分別に努め	りる						
②計画	・一般廃棄物の分別	n.1							
9411	・中間処理に適合し	た分類	A 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
	・安定型廃棄物とそ								

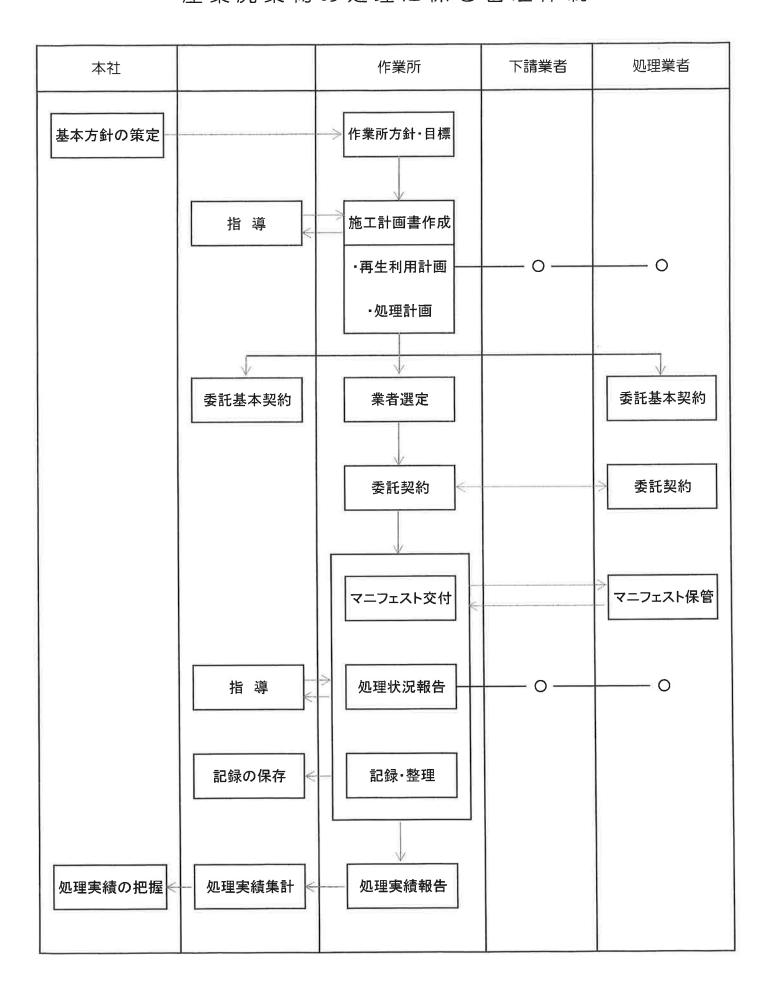
自ら	行う産業廃棄物の再	生利用に関する事項		
1 [【前年度(令和6年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	-	:
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	t
	①現状	(これまでに実施した取・特になし	又組)	
-		【目標】		
	•	産業廃棄物の種類	-	2
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	t
	2計画	(今後実施する予定の取	文組)	
		・特になし		
自ら	行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項		
		【前年度(令和6年度)	実績】 	
		産業廃棄物の種類	=	
		自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
		(これまでに実施した耳 ・特になし	文組)	
		・特になし		
		【目標】	T	
		産業廃棄物の種類	_	=
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	2計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		— t
		(今後実施する予定の即 ・特になし	文組)	
				_
				*

自ら行う産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入	入処分に関する事項	
	【前年度(令和6年	度) 実績】	
	産業廃棄物の種	類	-
	自ら埋立処分又に 海洋投入処分を行っ 産業廃棄物の	った - t	t
①現状	(これまでに実施し ・特になし	した取組)	
	【目標】		¥1000
	産業廃棄物の種	類	, = 2
	自ら埋立処分又に 海洋投入処分を行 産業廃棄物の	う - t	t
②計画	(今後実施する予定・特になし	定の取組)	4
2 2		10.0	
* * * *			
 産業廃棄物の処理の委	 託に関する事項		
	【前年度(令和6年	度)実績】	4
	産業廃棄物の種	類 別紙集計表のとおり	8 1
	全処理委託	量 t	t
	優良認定処理業者 処理 委託		t
	再生利用業者 処理 委託	への +	t t
COVER 10	認定熱回収業者 処 理 委 託	~の t	t
①現状	認定熱回収業者以 熱回収を行う業者 処 理 委 託	以外の fへの t	t
	(これまでに実施) 産業廃棄物の処理 行った。	ンた取組) 許可証、運搬車両の登録など(の確認を行い、委託を
87	2		

【目標】						
123	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり				
	全処理委託量	t	t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t			
	再生利用業者への 処理委託量	t	t			
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t			
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	t			
	(今後実施する予定の取産業廃棄物の処理許可証う。	KM) E、運搬車両の登録などの)確認を行い、委託を行			
 ※事務処理欄						

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制



現状:前年度(令和6年度)実績量

計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

	計画:今年	度(令和7年	E度)計画量	配(日標)														単位:トン		
	排出	抑制				自ら行うに	中間処理	- 1		-					処理(り委託	51			
産業廃棄物の種類	排出	排出量		三利用を 行う)量	自ら熱回収を (1)6中間処理により 行った(行う)量 減量した(する)量			一 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		全処理委託量		優良認定処門業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
 汚泥	7.81	7.03	-			-		-			7.81	7.03	0.00	0.00	7.81	7.03	0.00	0.00	0.00	0.00
廃油	1,06	0.95	-	-		-					1.06	0.95	0.00	0.00	1.06	0.95	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	99.95	89.96	- 2	1-1	-	-	-		-		99.95	89.96	53.14	47.83	99.70	89.73	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	7.05	6.35		-		-	. =		-	-	7.05	6.35	6.75	6.08	7,05	6.35	0.00	0.00	0,00	0.00
木くず	135.82	122.24	_	_	7	_	====	-	_	2 	135.82	122.24	93.23	83.91	135.82	122.24	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	89.25	80.33	-	_	-	-	_	-			89.25	80.33	24.75	22.28	89.25	80.33	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス陶磁器等くず	581.30	523.17	=			=	=	3 2		-	581.30	523.17	0.00	0,00	506.00	455.40	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	174.10	156.69	-	,_	-	==	=	-	_ x =	-	174.10	156.69	95.50	85.95	174.10	156.69	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	14,222.42	12,800.18		5	-	= ==	=	-	-		14,222.42	12,800,18	31,38	28.24	13,712.42	12,341.18	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	2,348.53	2,113.68		=	_				=	-	2,348.53	2,113.68	0.15	0.14	1,917.33	1,725.60	0,00	0.00	0.00	0.00
その他がれき類	391.26	352.13			-	1 500	. [. :	391.26	352.13	53.23	47.91	56.19	50.57	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(安定型)	4.18	3.76			,		-				4.18	3.76	0,00	0.00	0.83	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	163.70	147.33	-	-		-	=			A 11-	16.70	15.03	157.22	141.50	163.70	147.33	0.00	0.00	0.00	0.00
石綿含有産業廃棄物	3.85	3.47		-	-	-	1	-	_		3.85	3.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
水銀使用製品	7.00	6.30		-	Ţ-		:	_		×=	7.00	6.30	0.00	0.00	7.00	6.30	0.00	0.00	0.00	0.00
				_																
						h 1					11.7									
										_										
		1.5											44							
									3 Tr			_p (0							- / -	
0			-																	
0.31	10.007.00	10.410.55	0.00	0.00	0.00	0,00	0,00	0.00	0.00	0.00	18 090 28	16,281.25	515.35	463.82	16,878.26	15 190 43	0.00	0.00	0.00	0,00
合計	18,237.28	10,413.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0,00	10,000.20	1.0,201.20	1 010.00	400.02	1.0,070.20	110,100,40	0.00	0.00	0.50	0.00

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎県北松浦郡佐々町本田原免168番地2 氏 名 佐々町下水道事業 佐々町長 濵野 亙

電話番号 0956-62-2101 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	佐々浄化管理センター
事	業場の所在地	長崎県北松浦郡佐々町小浦免41番地3
計	画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当詞	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	事業の種類	下水道施設維持管理業(日本標準産業分類番号 3631)
	事業の規模	年間処理水量 1,867,233㎡(R6年度実績)
	従業員数	9名(施設維持管理業務を民間委託)
	産業廃棄物の一連の処理の工程	下水道汚泥(処理工程詳細は別紙のとおり) 当該施設で汚泥脱水(脱水ケーキ) 運搬処理業者(民間)へ委託

(日本産業規格 A列4番)

産業	業廃棄物の処理に係る管	理体制に関する	る事項				
	(管理体制図)						
	佐々町長 水道課	施設維持	寺管理業	者 (民間委託)			
産業	<u> </u> 業廃棄物の排出の抑制に	 関する事項					
,,		【前年度(令	·和6年度				
		産業廃棄物の		I			
				下水道汚泥(脱水ケーキ)			
		排出	量	1773.7 t	Ţ	t 	
	現状	(これまでに実施した取組) 遠心脱水機のメンテナンス					
		遠心脱小機の	アノナノ				
		7 □ += 3					
		【目標】	ひて手を立	エルギンロノ殴いたよく			
		産業廃棄物(下水道汚泥(脱水ケーキ)			
		排出	量	1,800 t	t	t	
	計画	(今後実施す	る予定の	D取組			
	H1 H1	凝集剤の再検	討				
産業	- 業廃棄物の分別に関する	事項					
		(分別してい	る産業層	発棄物の種類及び分別に関	『する取組)		
	現状	()3/35 21			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
		(今後分別す	る予定の	D産業廃棄物の種類及び名			
	計画				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項						
		【前年度(令和5年度	要) 実績】					
		産業廃棄物の種類						
	現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t				
	20001	(これまでに実施した	=取組)					
		【目標】						
		 産業廃棄物の種類						
	計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t				
	前四	(今後実施する予定の)取組)					
自	- ら行う産業廃棄物の中間	 処理に関する事項						
		【前年度(令和5年度)実績】						
		産業廃棄物の種類						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t				
	現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t				
		(これまでに実施した	:取組)					
		【目標】						
		産業廃棄物の種類						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t				
	計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t				
		(今後実施する予定の)取組)					

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項							
		【前年度(令和5年度	【前年度(令和5年度)実績】							
		産業廃棄物の種類								
	現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t						
		(これまでに実施した	:取組)							
		【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら埋立処分又は								
	計画	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t						
		(今後実施する予定の)取組)							
		,	•							
産業	 養廃棄物の処理の委託に	<u> </u> 関する事項								
		【前年度(令和5年度	。 5)実績】							
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥(脱水ケーキ)							
		全処理委託量	1773.7 t	t						
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t						
		再生利用業者への 処理委託量	1773.7 t	t						
	現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t						
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t						
		運搬処理業者(民間業	記濃縮及び脱水し、脱z (者) へ委託している。 (り焼却処分後、焼却灰を							

(第5面)

		()	<u> </u>	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	下水道汚泥(脱水ケーキ)	
		全処理委託量	1,800 t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,800 t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		運搬処理業者(民間業	記濃縮及び脱水し、脱水な €者)へ委託を行う。 こり焼却処分後、焼却灰を	
哥	事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績) 建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績) 医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 2 日

長崎県知事

殿

提出者

住 所 福岡市博多区東光寺町1丁目13番5号

氏 名 三軌建設株式会社福岡支店

支店長 大谷 誠一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0 9 2 - 4 5 1 - 6 7 4 6

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	の	名	称	三軌建設株式会社福岡支店管内 長崎工事所(軌道) 他3件
事	業	場(の 所 ===	在	地	長崎県諫早市栄田町13-26
計		画	期		間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月31日
当意	亥事美	美場に	こおい	て現	に行	「っている事業に関する事項 「カース」
	1	事	業の	種	類	総合工事業
	2	事	業の	規	模	令和6年度工事実績 180.6億円(長崎工事所含む福岡支店)
	3	従	業	員	数	126名(長崎工事所含む福岡支店)
			廃棄物 理 0			 ●廃プラスチック類;中間処理・再生処理業者に委託し、再生プラスチックとして再資源化、一部埋立処分 ●紙くず、木くず;再生処理業者に委託して燃料として再資源化ガラスくず;中間処理・再生処理業者に委託し、再生ガラスとして再資源化●コンクリートくず、がれき類;中間処理・再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化●混合廃棄物;中間処理・再生処理業者に委託して、分別後再生資源化及び埋立 ●アスファルト;中間処理・再生処理業者に委託し、再生骨材・アスファルト;中間処理・再生処理業者に委託し、再生骨材・アスファルとして再資源化

(日本産業規格

A列 (番)源循環推進課

産業廃棄物の処理に係	る管理体制に関する事項		
(管理体制図)			
別紙 1	管理体制図参照		
 産業廃棄物の排出の排			
	【前年度(令和 6年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	— " — t	
	(これまでに実施した取	組)	
	・廃プラスチック類;、・紙くず、木くず;再生 ・ガラスくず;中間処理 ・コンクリートくず、が ・混合廃棄物;中間処理	処理業者に委託して燃料 ・再生ガラスとして再資 れき類;再生砕石として	として再資源化 源化
	【目標】		4
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	
②計画		組) 場作業員一丸となった排 極力二次製品を使用した;	
産業廃棄物の分別に関	する事項		
	(分別している産業廃棄	物の種類及び分別に関す	る取組)
①現状	・建設混合廃棄物の分別	を重機により行なってい	た。
	(今後分別する予定の産	業廃棄物の種類及び分別	に関する取組)
②計画	・建設混合廃棄物の分別	を、人力併用で行い減量	化に務める。

自ら	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
		【前年度(令和 6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり						
	0.77.16	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量 t						
	①現状	(これまでに実施した取組)						
		・特になし						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり						
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 -" - t						
	②計画	(今後実施する予定の取組)						
		・特になし予定						
自ら	行う産業廃棄物の中間	 処理に関する事項						
		【前年度(令和 6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 -"- t						
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量						
		(これまでに実施した取組)						
		・特になし						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 -"- t						
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 t						
		(今後実施する予定の取組)						
		・特に予定なし						

自ら	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項												
		【前年度(令和 6年度)実績】											
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり											
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量 -"- t											
		(これまでに実施した取組)											
		・特になし											
		【目標】											
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり											
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 ー"ー t											
		(今後実施する予定の取組)											
		・特になし予定											
産業	廃棄物の処理の委託に	- 関する事項											
		【前年度(令和 6年度)実績】											
		産業廃棄物の種類 別紙のとおり											
		全 処 理 委 託 量 -"- t											
		優良認定処理業者への _"_ 処 理 委 託 量											
		再生利用業者への 処理委託量 -"- t											
	①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量											
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量											
		(これまでに実施した取組)											
	・がれき類は再資源化施設へ搬出												

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	// t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	_ "_ t	
②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	 t	
	(今後実施する予定の取 ・特になし予定	組)	
※事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃	棄物の排出の抑制	に関する事項		
	V36-D		/+ T	

	【前年度(令和 6年度)	実績】														
①現場	産業廃棄物の種類	汚泥 廃ブラスチック	畑 紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	度合原集物 (石納含有風景原集物)				
	排 出 量	0.000 t 2.625	t 6.000 t	126.695 t	0,000 t	0.000 t	0.000 t	1940.800 t	6.800 t	0.000 t	3.560 t	0.000 t	t	t	t	t
	【目標】															
2計画	産業廃棄物の種類	汚泥 魔プラスチック	知 紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	配合商運物 (石統含有歷業聚運物)				
	排 出 量	0.000 t 2.000	t 5.000 t	120.000 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	1900.000 t	5,000 t	0,000 t	3.000 t	0.000 t	t	t	t	t

(第3面)

	自	ら行	Ď	産業廃棄物の再生利用に関する事項	
--	---	----	---	------------------	--

	【前年度(令和 6年度)	実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	応プラスチック 原	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合模桌物	管理型混合模束物	混合原類物 《石碗含有盈复度集物》				
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	
	【目標】																
	【目標】																
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチッタ類	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合遊棄物	安定型混合遊戲物	管理型混合逐業物	配合原質物 (石納含有近是原集物)				

	【前年度(令和 6年度)	実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチッ ク 間	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合资票物	管理型混合液腐物	展合死集物 (石納含有逐業疫棄物)				
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	0,000 t	0,000 t	0.000 t	t	t	t	t				
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t
	【目標】			7/1													
	産業廃棄物の種類	汚泥	施プラ スチック 加	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合液质物	管理型混合液填物	混合廃棄物 (石組含有服無廃棄物)				
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

(第4 * 5 周)																	
自ら行う産	業廃棄物の埋立処分又は	海洋投入処	分に関する事	項													
	【前年度(令和 6年度)	実績】						_									
0.78.11	産業廃棄物の種類	汚泥	魔プラスチック類	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合痉挛物	管理型昆合斑葉物	混合照要物 (石組含有滋具肠延物)				
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0,000 t	0.000 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	ŧ	- 1		t
	【目標】		I dan dan dan dan														
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック 国	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合磁業物	混合规模物 (石組含有產業殖期物)				
②計画:	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	- t			t
産業廃棄物	の処理の委託に関する事	項															
	【前年度(令和 6年度)	実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチッ ク 間	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合疫苗物	管理型混合廃棄物	混合原集物 (石島含有産更廃棄物)				
	全処理委託量	0.000 t	2,625 t	6.000 t	126.695 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	1940.800 t	6.800 t	0.000 t	3.560 t	0.000 t	t			t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	0.000 t	2.625 t	6,000 t	69.955 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	0,000 t	6.800 t	0.000 t	3.560 t	0.000 t	t	14		t
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	56,740 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	1940.800 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t		t .	t
	認定熱回収業者への 処理 委託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t		t _i	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	81	t	t
	【目標】					F		î i				T	1		γ	r	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック即	紙くず	木くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合施業物	提合原葉物 (石納含有蓋電廃棄物)				
	全処理委託量	0,000 t	2,000 t	5.000 t	120.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	1900.000 t	5.000 t	0.000 t	3.000 t	0.000 t	L t		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	2.000 t	5.000 t	120.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	1900,000 t	5.000 t	0.000 t	3.000 t	0.000 t	t		t	t
②計画	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0,000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t		t	t

建設副產物管理組織図



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 17日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 福岡市東区千早2丁目2番43号

氏 名 株式会社 三和興業

代表取締役 大山 哲寿

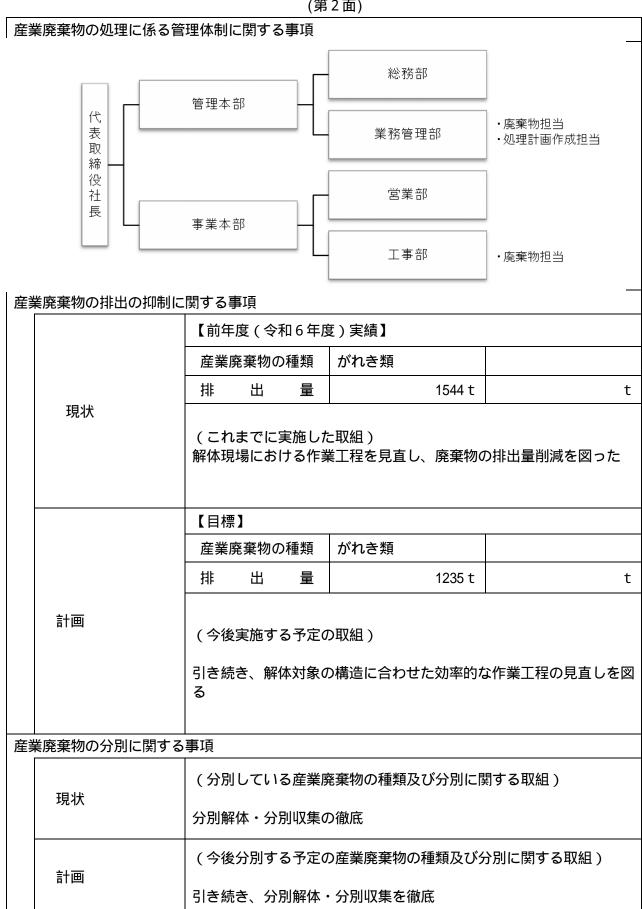
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-671-1855

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社 三和興業
事	業場の所在地	長崎県内事業場
計	画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	事業の種類	建設業・職別工事業(0796)
	事業の規模	前年度元請工事完成高 356百万円
	従業員数	103名
	産業廃棄物の一の処理の工程	有価販売 (再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再生利用) 「再資源化処理) 「再資源化処理) 「再資源化処理) 「申社・委託処分 (安定型埋立処分) 「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、」」 「申社・委託処分 (安定型・管理型型立処分) 「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、「中ででは、」」 「申社・委託処分 (安定型・管理型型立処分) 「申社・委託処分 (安定型・管理型型立処分) 「申社・委託処分 (安定型・管理型型立処分) 「申社・委託処分 (安定型・管理型型立処分) 「申報をは、「申報

(日本産業規格 A列4番)



自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項							
		【前年度(令和6年度	度)実績】						
		産業廃棄物の種類	がれき類						
	現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t					
	7,6 1/1	(これまでに実施した 実施なし	こ取組)						
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	がれき類						
	計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t					
		(今後実施する予定の 予定なし	D取組)						
自	」 ら行う産業廃棄物の中間	 処理に関する事項							
		【前年度(令和6年月	度)実績】						
		産業廃棄物の種類	がれき類						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t					
	現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t					
		(これまでに実施した	こ取組)						
		実施なし							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	がれき類						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t					
	計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t					
	(今後実施する予定の取組)								
		予定なし							

自	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項											
		【前年度(令和6年度	夏) 実績】									
		産業廃棄物の種類	がれき類									
	現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t								
		(これまでに実施した	三取組)									
		実施なし										
		【目標】										
		産業廃棄物の種類	がれき類									
		自ら埋立処分又は										
	計画	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t								
		(今後実施する予定の	· D取組)									
		予定なし										
		1/E/A U										
産業	 	関する事項										
		【前年度(令和6年度	夏) 実績】									
		産業廃棄物の種類	がれき類									
		全処理委託量	1544 t	t								
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t								
		再生利用業者への 処理委託量	1544 t	t								
	現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t								
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t								
		(これまでに実施した	三取組)									
		解体現場の所在地に応	なじ、自社および委託再生	上施設で処理している								

(第5面)

		<u> </u>	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1235 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理 委託量	1235 t	t
	認定熱回収業者への 処理 委託量	0 t	t
計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の 引き続き解体現場の所 る	D取組) f在地に応じ、自社および	が委託再生施設で処理す
事務処理欄			

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績) 建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績) 医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6月 23 日

長崎県知事 大石賢吾 殿

提出者 住所 長崎県佐世保市白木町3番18号

氏 名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名) 株式会社 上 滝 佐世保支店 常務取締役支店長 山﨑 洋樹

電話番号 0956-23-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

-	
事業場の名称	株式会社 上滝 佐世保支店
事業場の所在地	長崎県佐世保市白木町3番18号
計画期間	令和7年4月1日~令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている	事業に関する事項
①事業の種類	06:総合工事業

前年度の元請完成工事高 ¥498,300,000-

③従業員数 32人

②事業の規模

工事受注・施工 ►紙、木等の可燃物 不燃残渣 **硬質プラスチック** 産業廃棄物発生 軟質プラスチック コンクリートがら 建設混合 搬出までの管理 廃アスファルト 廃棄物 ④ 産業廃棄物の一連 の処理の工程 金属くず 排出委託契約の締結 再生資源化施設 産 産業廃棄物収集運搬 業 排 出 中間処理業者 廃 許可業者による運搬 棄物 最終処分の確認 最終処分場 マニフェストの保管

(日本工業規格 A列4番)源 循環

推進課

24

産業	芝廃棄物の処理に係る	管理体制に関する事	項								
	(管理体制図)										
	支店長(産業廃	棄物処理総括責任者	f)								
	▶土木部・	建築部統括責任者(土木部次	r長·建築部次:	長)						
	±,	ド部・建築部処理計画	作成担	当者							
	_	現場代理人(各現場	企業 核華	至	★・特別管理	F 企業 医 棄 物 管 F	用青仁老)				
		が加口主人(日うじか)	压术几分	尼沙百年 貝江七	1 7000日と	11年末光米70日2	工具江口)				
华子	<u> </u> 										
生 月	 	【前年度(令和6年度	F) 宝徳【		 刂紙有						
		産業廃棄物の種類			170八月	アスコンがら					
	10	7.1.2	`		'E 1 10 +	ノヘコンから	106.16				
		排 出 量 (これまでに実施した		- 1	'54.40 t		100.10	t			
	①現状	コンクリートがらの系	THE COUNTY OF THE PARTY OF THE	のため							
		型枠工事の施工精	度を上げ	げはつり作業を	減少させた	-0					
		紙くず・廃プラスチン工作物養生のため			さ田 ひょだか	の担担で転用し	k-				
		工作物食生のため		り食生質的では	出及い次	の児易で転用し	Ćo				
		【目 標】									
		産業廃棄物の種類	コン	クリートがら		アスコンがら					
		排 出 量		1,0	00.00 t		500.00	t			
	@#Li#:	(今後実施する予定の	-000 He 0000 H 11760	. 2 L.		<u> </u>					
	②計画	上記に加え下記の・廃プラスチック・金√			くため						
		- 発現場内のジュー									
		・木くずの発生を抑制									
		型枠解体材で再利	用できる	6部材を選別し	再利用する	, o					
产型	 と と と と と と と と と	 ス 東 1百									
性 耒	 	○事頃 【(分別している産業廃	・ かの 和	重類及7%分別に	関する取組	1)					
		・各現場で産業廃棄			カース・	1,					
		専用ボックスを設置			管している	00					
	少先孙										
		(今後分別する予定の	D産業廃	棄物の種類及び	バ分別に関	する取組)					
		・特に無し									
	②計画					₹6					

産業廃棄物の	処理に係る管理体制に関する事項		
	28		
	別紙		
产業成棄地の	 排出の抑制に関する事項		
生来是来初り	【前年度(令和6年度)		
	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
	排出量	8.16 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排出量	26.02 t	79.39 t
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
①現状	排出量	31.90 t	48.53 t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃石膏ボード
	排出量	190.72 t	6.97 t
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	排出量	0.00 t	t
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		V.
	【目標】		
)	産業廃棄物の種類	その他がれき類	ガラスくず及び陶磁器くず
	排 出 量	100.00 t	100.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	100.00 t	100.00 t
2計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	紙くず
	排 出 量	200.00 t	100.00 t
	産業廃棄物の種類	木くず	石 膏 ボ ー ド
	排出量	100.00 t	100.00 t
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	排出量	200.00 t	t

	っ行う産業廃棄物の再生	_{生利用に関する事項}					
		【前年度(令和6年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら		アスコンがら		
		自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00) t		0.00	t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら		アスコンがら		
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0) t		0.00	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし					
目ら	行う産業廃棄物の中間						
		【前年度(令和6年度)実績】					
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら		アスコンがら		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.0) t		0.00	t
	①現状	自ら中間処理により減量した産 業廃棄物の量	0.0) t		0.00	t
		(これまでに実施した取組) ・実施していない					
		7 D +m 1					
		【目 標】 産業廃棄物の種類	コンクリートがら		アスコンがら		
		自ら熱回収を行う	0.0) t		0.00	t
		産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する産 業廃棄物の量	0.0) t		0.00	t
	②計画	・予定なし					

(第4面)

			(M±m)					
自ら	行う産業廃棄物の埋立	立処分又は海洋投入処分に関	する事項					
		【前年度(令和6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら			アスコンがら		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量		0.00	t		0.00	t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら			アスコンがら		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		0.00	t		0.00	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし						
1								

自身	行う産業廃棄物の再生	上 利用に関する事項									
-1		【前年度(令和6年度)実績】									
		産業廃棄物の種類	そ	の	他	が	れ	き類	Ę	ガラスくず及び陶磁器く	くず
		自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量					0.	.00	t	0.00	t
	①現状	(これまでに実施した取組)									
		・実施していない									
		【目標】									
4		産業廃棄物の種類	そ	の	他	が	れ	き類	1	ガラスくず及び陶磁器<	〈ず
í		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量					0.	.00	t	0.00	t
	 ②計画	(今後実施する予定の取組)									
		・ 予定なし 									
自ら	行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項									
		【前年度(令和6年度)実績】									
		産業廃棄物の種類	そ	0)	他	が	れ	き類	<u> </u>	ガラスくず及び陶磁器ぐ	くず
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量					0	.00	t	0.00	t
		自ら中間処理により減量した産					0	.00	t	0.00	t
	①現状	業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)						.00		0.00	-
4		・実施していない									
1											
	10										
		 【目 標】									
		産業廃棄物の種類	7	\mathcal{O}	他	が	ħ	き類	<u> </u>	ガラスくず及び陶磁器。	くず
		自ら熱回収を行う			10	,,				0.00	
		産業廃棄物の量						.00	t	0.00	t
		自ら中間処理により減量する産 業廃棄物の量					0	.00	t	0.00	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)									
		・ 予定なし									

(第4面)

物の埋立処分又は海洋投入処分に関 【前年度(令和6年度)実績】	する事	項										
【前年度(令和6年度)実績】												
												Ī
産業廃棄物の種類	そ	の	他	が	れ	き	類	ガラス	くず及	び陶	磁器<	`
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量					0	0.00	t				0.00	
(これまでに実施した取組) ・実施していない												
											_	_
【目 標】												
産業廃棄物の種類	そ	の	他	が	れ	き	類	ガラス	くず及	び陶	磁器<	`
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量					C	00.	t				0.00	
(今後実施する予定の取組) ・予定なし												
_	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない 【目 標】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない 【目 標】 産業廃棄物の種類 そ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない ・実施していない を業廃棄物の種類 そ の 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない 【目 標】 産業廃棄物の種類 そ の 他 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない ・実施していない を業廃棄物の種類 そ の 他 が 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない 【目 標】 産業廃棄物の種類 そ の 他 が れ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない 【目 標】 産業廃棄物の種類 そ の 他 が れ き 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない ・実施していない を業廃棄物の種類 その他がれき類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 東物の量	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量 (これまでに実施した取組) ・実施していない 【目 標】 産業廃棄物の種類 そ の 他 が れ き 類 ガラスくず及び陶 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 0.00 t 0.00 (これまでに実施した取組) ・実施していない ・実施していない (これまでに実施した取組) ・実施していない 産業廃棄物の種類 その他がれき類ガラスくず及び陶磁器 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組) 0.00 t 0.00

自ら	行う産業廃棄物の再生	生利用に関する事項			
		【前年度(令和6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金 属	くず
		自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00 t		0.00 t
	①現状	(これまでに実施した取組)			
		・実施していない			
		【目 標】			
1		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金 属	くず
1	1	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t		0.00 t
	②計画	(今後実施する予定の取組)		,	
		 ・ 予定なし 			
1					
自ら	行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項			
	=	【前年度(令和6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金 属	くず
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t		0.00 t
	(DTHAIL)	自ら中間処理により減量した産 業廃棄物の量	0.00 t		0.00 t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない			
)	II	*			
		【目 標】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金 属	くず
	,	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t		0.00 t
		自ら中間処理により減量する産 業廃棄物の量	0.00 t		0.00 t
	②計画	(今後実施する予定の取組)	t		
		・予定なし 			

(第4面)

			()1.	, ,,,,,,											
自ら	行う産業廃棄物の埋立	立処分又は海洋投入処分に関す	する事	項											
		【前年度(令和6年度)実績】													
		産業廃棄物の種類	廃	プ	ラン	ス	チ	ック	類		金	属	<	ず	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量						0.00	t					0.00	t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない													
		【目標】								r—					_
		産業廃棄物の種類	廃	ブ	フン	ス <u>ー</u>	チ	ック	類	_	金	属	<	ず	_4
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量						0.00	t					0.00	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし													
		2													
								_	_						

É	ら行う産業	廃棄物の再	生利用に関する事項									
1			【前年度(令和6年度)実績】					-/_				
1			産業廃棄物の種類	建	設	汚	泥	Ŕ	紙	<	ず	
			自ら再生利用を行った産業廃 乗物の量			C).00 t				0.00	t
	①現状		(これまでに実施した取組) ・実施していない									
			• 美 胞して パパ・									
ľ												
			【目標】					1				
-			産業廃棄物の種類	建	設	汚	泥	Ť	紙	<	ず	
1			自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量			C).00 t				0.00	t
	②計画		(今後実施する予定の取組)									
			・ 予定なし									
É	ら行う産業	廃棄物の中	間処理に関する事項									
			【前年度(令和6年度)実績】									
			産業廃棄物の種類	建	設	汚	泥	ž	紙	<	ず	
			自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量			().00 t				0.00	t
			自ら中間処理により減量した産				0.00 t	1			0.00	t
	①現状		業廃棄物の量				0.00 t				0.00	ι
1			(これまでに実施した取組) ・実施していない									
1												
	1		【目標】	7=1-	÷Л	泟	WE!	1 .	紙	<	ず	
			産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う	建	設	汚	泥	7	阳			
			産業廃棄物の量			().00 t				0.00	t
			自ら中間処理により減量する産業の要素がの具			().00 t	İ			0.00	t
	②計画		業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)									
			・予定なし									
	1											
_												

(第4面)

			() 0 1							
自ら	行う産業廃棄物の埋	立処分又は海洋投入処分に関	する事項							
		【前年度(令和6年度)実績】								
		産業廃棄物の種類	建	設	汚	泥	紙	<	ず	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量			0	0.00 t			0.00	t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類	建	設	汚	泥	紙	<	ず	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		HZ.		0.00 t	, je v		0.00	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし	VI							

自ら	行う産業廃棄物の再生	生利用に関する事項									
1		【前年度(令和6年度)実績】									
		産業廃棄物の種類	木	<	ず		石	膏	ボ	_	ド
		自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量			0.00	t				0.00) t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない									
		*									
	ľ										
		【目 標】									
		T	木	<	ず	-1			ボ		
\		産業廃棄物の種類 自ら再生利用を行う	<u></u>				17	肖	11/		
1		産業廃棄物の量			0.00	t				0.00	0 t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし									
		• たなし									
7. 8	والمراجعة والمرا	10/0 wtn 1 - 00) w -t-wt									
目り	行う産業廃棄物の中										
		【前年度(令和6年度)実績】	木	<	ず				ボ		ド
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った				-	711	角	- 47		
		産業廃棄物の量			0.00	t				0.00	0 t
		自ら中間処理により減量した産 業廃棄物の量			0.00	t				0.00	0 t
	①現状	(これまでに実施した取組)									
1		・実施していない									
		1									
		【目標】									
		産業廃棄物の種類	木	<	ず		石	膏	ボ	_	ド
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量			0.00	t				0.00	0 t
		自ら中間処理により減量する産 業廃棄物の量			0.00	t				0.00	0 t
	②計画	(今後実施する予定の取組)									
1		・予定なし									
		I .									

(第4面)

自ら	行う産業廃棄物の埋立		する事項								
		【前年度(令和6年度)実績】									
		産業廃棄物の種類	木	<	ず		石	膏	ボ		ド
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 乗物の量			0.00	t				0.00) t
	①現状	(これまでに実施した取組) ・実施していない									
		【目 標】	+		ず	_	7	膏	ボ	_	ド
		産業廃棄物の種類	木	<	9	_	石	肾	41/		Γ
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量			0.00	t				0.00	0 t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし									

自ら	行う産業廃棄物の再生	生利用に関する事項		
1		【前年度(令和6年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
		自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00 t	t
	①現状	(これまでに実施した取組)		
		・実施していない		
		-		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
Ì		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)		
		・予定なし 		
自ら	行う産業廃棄物の中	間処理に関する事項		
		【前年度(令和6年度)実績】		
1		産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した産 業廃棄物の量	0.00 t	t
	少先从	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
Ì		・ 美胞していない		
	J			
		【目 標】		
		産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	t
		自ら中間処理により減量する産 業廃棄物の量	0.00 t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組)		
		・ 予定なし		

(第4面)

自	ら行う産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入処分に関す	る事項	
		【前年度(令和6年度)実績】		
	1	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った産業廃 棄物の量	0.00 t	t
	①現状 	(これまでに実施した取組) ・実施していない		
		【目 標】 産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・予定なし		

(第5面)別紙有

	【前年度(令和6年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら		アスコンがら	
	全処理委託量	754.40	t	106.16	i
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.00	t	0.00	
	再生利用業者への処理委託 量	754.40	t	106.16	i
①現状	認定熱回収業者への処理委 託量	0.00	t	0.00	
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	0.00	t	0.00	
	・廃プラスチック類を焼却処理す 熱回収の認定を受けた業者に				
	熱回収の認定を受けた業者に	で 委託する。		T	
	然回収の認定を受けた業者に 【目標】 産業廃棄物の種類	コンクリートがら		アスコンがら	
	熱回収の認定を受けた業者に 【目 標】 産業廃棄物の種類 全処理委託量	で 委託する。	t	アスコンがら 500.00)
	然回収の認定を受けた業者に 【目標】 産業廃棄物の種類	コンクリートがら	t		
	然回収の認定を受けた業者に 【目標】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託	コンクリートがら 1,000.00 0.00	t	500.00	
②計画	然回収の認定を受けた業者に 【目標】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託	コンクリートがら 1,000.00 0.00	t	0.00)
②計画	然回収の認定を受けた業者に 【目標】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託	コンクリートがら 1,000.00 0.00 1,000.00	t	500.00 0.00 500.00)
②計画	然回収の認定を受けた業者に 「国標」 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 最 認定熱回収業者への処理委託 記定熱回収業者への処理委託	コンクリートがら 1,000.00 0.00 1,000.00 0.00	t t	500.00 0.00 500.00 0.00)

	【前年度(令和6年度)実績】	7 0 16 15 6 7.45		耳== 购費用/平
	産業廃棄物の種類	その他がれき類		ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	8.16	t	0.00
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.00	t	0.00
	再生利用業者への処理委託 量	8.16	t	0.00
①現状	認定熱回収業者への処理委 託量	0.00	t	0.00
U9411	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量		t	0.00
	【目標】			
	【目 標】 産業廃棄物の種類	その他がれき類		ガラス・陶磁器くず
	産業廃棄物の種類 全処理委託量	100.00	t	ガラス・陶磁器くず 100.00
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量	100.00	t	
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託	100.00 0.00 100.00	t	100.00
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託	100.00 0.00 100.00	t	0.00

	【前年度(令和6年度)実績】		_	Don - un	_
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック		金属くず	
	全処理委託量	26.02	t	79.39	
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.00	t	0.00	
	再生利用業者への処理委託 量	26.02	t	79.39	
①現状	認定熱回収業者への処理委 託量	0.00	t	0.00	
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	0.00	t	0.00	
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック		金属くず	_
	全処理委託量	100.00	t	100.00	
l .					_
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.00	t	0.00	_
	委託量 再生利用業者への処理委託 量	0.00	_	0.00	-
(2)計画	委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委 託量		_		_
②計画	委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委	0.00	t	100.00	

産業廃棄物の種類 建設汚泥 紙ぐず 全処理委託量 31.90 t 48.53 優良認定処理業者への処理委託 品 31.90 t 48.53 認定熱回収業者への処理委託 品 0.00 t 0.00 認定熱回収業者への処理委託 記定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 200.00 t 0.00 0.00 優良認定処理業者への処理委託 200.00 t 100.00 優良認定処理業者への処理委託 200.00 t 0.00 100.00 審託量 200.00 t 100.00 100.00 認定熱回収業者への処理委託 200.00 t 100.00 100.00 認定熱回収業者の処理委託 200.00 t 0.00 0.00 認定熱回収業者の処理委託 200.00 t 0.00 0.00 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 200.00 t 0.00 0.00		【前年度(令和6年度)実績】				_
優良認定処理業者への処理		産業廃棄物の種類	建設汚泥		紙くず	
(1) 現状 (1) 現状 (1) 日標 (1) 日標 (1) 日本	l .	全処理委託量	31.90	t	48.53	
・			0.00	t	0.00	
Time		量	31.90	t	48.53	
記定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	①現状		0.00	t	0.00	
産業廃棄物の種類 建設汚泥 紙くず 全処理委託量 200.00 t 100.00 優良認定処理業者への処理 委託量 0.00 t 0.00 再生利用業者への処理委託 200.00 t 100.00 認定熱回収業者への処理委託 0.00 t 0.00 認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 0.00 t 0.00	3270	収を行う業者への処理委託		t	0.00	
優良認定処理業者への処理 委託量 0.00 t 0.00 再生利用業者への処理委託 量 200.00 t 100.00 認定熱回収業者への処理委託 影定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 0.00 t 0.00						
優良認定処理業者への処理 委託量 0.00 t 0.00 再生利用業者への処理委託 量 200.00 t 100.00 認定熱回収業者への処理委託 設定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 0.00 t 0.00			建設汚泥		紙ぐず	
量 200.00 t 100.00 認定熱回収業者への処理委託 0.00 t 0.00 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 0.00 t 0.00		産業廃棄物の種類		_		
②計画 託量 0.00 t 0.00 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 0.00 t 0.00		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理	200.00	t	100.00	
認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託		産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量	200.00 0.00 200.00	t	0.00	_
	②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託	200.00 0.00 200.00 0.00	t t	100.00 0.00 100.00	
	②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 記定熱回収業者への処理委託	200.00 0.00 200.00 0.00	t t	100.00 0.00 100.00 0.00	
	②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 記定熱回収業者への処理委託	200.00 0.00 200.00 0.00	t t	100.00 0.00 100.00 0.00	_

	【前年度(令和6年度)実績】	-1 212	_	廃石膏ボード	_	_
	産業廃棄物の種類	木くず 190.72	_		7	
	全処理委託量	190.72	t	ь.	97	_
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.00	t	0.	00	
	再生利用業者への処理委託 量	190.72	t	6.	97	
①現状	認定熱回収業者への処理委 託量	0.00	t	0.	00	
少先人	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	0.00	t	0.	00	
	7 D 485					_
	【目 標】 産業廃棄物の種類	木くず		廃石膏ボード		-
	産業廃棄物の種類	木くず [*]	t	廃石膏ボード 100.		_
		木くず 100.00 0.00	t	100.	00	
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理	100.00	t	100.	00	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託	0.00	t	100. 0. 100	00	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委	100.00 0.00 100.00	t	100. 0. 100	.00	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託	100.00 0.00 100.00 0.00	t t	100. 0. 100	.00	

	委託に関する事項		
	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	全処理委託量	0.00 t	
	優良認定処理業者への処理 委託量	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託 量	0.00 t	
①現状	認定熱回収業者への処理委 託量	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	0.00 t	
	I to total		
	【目 標】		
	産業廃棄物の種類	混合(管理型含む)	
	産業廃棄物の種類 全処理委託量	混合(管理型含む) 200.00 t	
	産業廃棄物の種類		
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量	200.00 t	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 計量	200.00 t 0.00 t	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委	200.00 t 0.00 t 200.00 t	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託	200.00 t 0.00 t 200.00 t 0.00 t	
②計画	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理 委託量 再生利用業者への処理委託 量 認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者への処理委託 認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託	200.00 t 0.00 t 200.00 t 0.00 t	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理 を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うこ とによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と 記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上 あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した 別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

R7 年6月4日

長崎県知事 大石 賢吾

〒856-0015 長崎県大村市宮代町475-1 提出者 株式会社菅野谷興産 住 所 代表取締役 菅野谷 心 氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号

TEL0957-56-8958 FAX0957-56-8959

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社 董野公興産
事	業場の所在地	大村市宏代町475-1
計	画 期 間	R1年4月1日~ R8年3月31日
当部	该事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	土水工事業,とび、ユエエ事業,石工事業,金岡構造物工事業,開保事業,発生事業,全党工事業,1、当施設工事業,解保事業
	②事業の規模	
	③従 業 員 数	121
1	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	建物解体 → 治門 > 自社处理(本本) 学者安瓿(组化原睾物)
-		***************************************

(日本産業規格



	(管理体制図)				17			
	X W							
-								
	7 NIZ	af af						
	y		ii ii					÷
	¥	54 7 10			×			
	y x x				25			
主美	達廃棄物の排出の抑制に	関する事項		2			5 8 3	
		【前年度(令和	6年度)実績					
	2 2	産業廃棄物の種	類	e			*	
	4	排出	量		t	-		
		(これまでに実力	佐! た形(日)					
	① 現状	(これよりに夫)	他した収組					
	① 現状	(これしまてん夫)	他した政権」				*	
	① 現状	(CAUS CICE)	他して以外		-2		*	
	① 現状		他 した収料		ų.			
	① 現状		他した政権					
	① 現状	【目標】	他した私が出	> ×		:		
8	① 現状			* *				
	① 現状	【目標】		> ×	t			
		【目標】 産業廃棄物の租 排 出	重類	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	t			
V. V	 現状 ②計画	【目標】 産業廃棄物の種	重類		t			
V . V		【目標】 産業廃棄物の租 排 出	重類	× ×	t			
V V V		【目標】 産業廃棄物の租 排 出	重類		t			
W. Y. W. S.		【目標】 産業廃棄物の租 排 出	重類		t			
V V V		【目標】 産業廃棄物の租 排 出	重類		t			
至美		【目標】 産業廃棄物の租 排 出 (今後実施する・	重類	×	t			
产	②計画	【目標】 産業廃棄物の租 排 出 (今後実施する・	重類 量 予定の取組)	種類及では		写する取 組	1)	
至 美	②計画	【目標】 産業廃棄物の租 排 出 (今後実施する・	重類 量 予定の取組)	種類及び分		見する取 組		
主	②計画	【目標】 産業廃棄物の租 排 出 (今後実施する・	重類 量 予定の取組)	種類及び分		園する取 組	1)	
主	②計画	【目標】 産業廃棄物の租 排 出 (今後実施する・ 事項 (分別している)	重類 量 予定の取組) 産業廃棄物の		分別に関	a)		
· 美	②計画	【目標】 産業廃棄物の租 排 出 (今後実施する・	重類 量 予定の取組) 産業廃棄物の		分別に関	a)		

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項	139	
	2 *	【前年度(令和6年度	ままり 実績】	
	-	産業廃棄物の種類		
-83	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t
		(これまでに実施した	上取組)	
		【目標】	± - d	
		産業廃棄物の種類		1
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t
	White the state of	(今後実施する予定の)取組)	
		2		
自		 処理に関する事項		
		【前年度(令和6年度	ぎ)実績 】	2 -
		産業廃棄物の種類	木くす"	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	97	t t
	-	(これまでに実施した	と取組) +・1~ はおよち 月分	しての 火来もり火戸しこみいて
		参摩件作で気	+ LI 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2
		減量するなめに	大龙女/ 12 XC 10 E	2930
	- 2	【目標】	· To stand	
		産業廃棄物の種類	すくす"	, ,
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t t
-	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	388	t - t
	2 2	(今後実施する予定の	0取組)	
	, a 2			の火をむ火をいまいて
		-减量技趣:海	生物が欠かをす	30

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項	
-		【前年度(令和6年度	ぎ)実績 】	
	2 4	産業廃棄物の種類		
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
-		(これまでに実施した	上取組)	* *
	N I I			: \$ v
	5 to	【目標】	£ "	
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は	1 10	-
	②計画	海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(今後実施する予定の)取組)	1 2 2 T
	v	3		
産	業廃棄物の処理の委託に	関する事項		
	14 E4 =	【前年度(令和6年度	ぎ)実績 】	8 8
				Dis .
		産業廃棄物の種類	かれき類	
5		産業廃棄物の種類 全処理委託量	がれき類 2401、07 t	t
3		R		t t
3 ×		全処理委託量	2401.07 t	(e = 3i
3 × 3	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	2401.07 t 365-9 t	
	① 現状	全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者への 処 理 委 託 量 再生利用業者への 処 理 委 託 量 認定熱回収業者への	2401.07 t 365-9 t 2035,17 t	t
	① 現状	全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者への 処 理 委 託 量 再生利用 委 者 不 の 処 理 委 業者への 処 理 委 業者への 処 理 委 業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量 (これまでに実施した	2401.07 t 365-9 t 2035,17 t t	t t
	① 現状	全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者への 処 理 委 託 量 再生利用 委 者 不 の 処 理 委 業者への 処 理 委 業者への 処 理 委 業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量 (これまでに実施した	2401.07 t 365-9 t 2035,17 t t	t

	立処分又は海洋投入処分	CMI	
** ** **	【前年度(令和6年度	E) 実績】	
	産業廃棄物の種類		
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	- t
	(これまでに実施した	取組)	
	【目標】	21 1 2 10 1	
	産業廃棄物の種類	1 E/	
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	1
	(今後実施する予定の)取組)	
産業廃棄物の処理の委託	こ関する事項		
	【前年度(令和6年度	度) 実績】	* *
1.8	産業廃棄物の種類	すcず ⁿ	Y and
	全処理委託量	10/4	
**	土处任安加里	218,606 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	8.53 t	
	優良認定処理業者への		1
① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	8.53 t	
① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	8.53 t 210.076 t	
① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	8.53 t 3.10、076 t t t	
① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	8.53 t 210.076 t t	る事業者へ拝出する

	011 7 庄未用来物以生工	処分又は海洋投入処分	に関する事項	
	4 5 0 1	【前年度(令和6年度	E)実績】	
	21 C 8	産業廃棄物の種類	* * " I	
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	20 n t
*	2.3	(これまでに実施した	·取組)	
		【目標】	H 5 5	**
	-	産業廃棄物の種類	, ,-	
*	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	41 121	(今後実施する予定の)取組)	
	# 14X	ar.		
産	」 業廃棄物の処理の委託に	 関する事項	8 I	
	19	【前年度(令和6年度	ま)実績】	
		 産業廃棄物の種類	F1 02 . 0 . 1 . 4 . 5	18
l		建 未加来 13 **	戻为なたり類	
	**	全処理委託量	たガダヤック類 ク2-6 t	t
				t t
		全処理委託量	72.6 t	
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	72.6 t	t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	72.6 t	t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託の 処理無者を 再生利要の 処理無者 認定熱理を業者を 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者へ 処理を の処理を が、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	ク2.6 t カ2.6 t t t t t t	t t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託の 処理無者を 再生利要の 処理無者 認定熱理を業者を 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者へ 処理を の処理を が、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	72.6 t 72.6 t t	t t

日日	っ行う産業廃棄物の埋立た	処分又は海洋投入処分	に関する事項	* ************************************
		【前年度(令和6年度	三) 実績】	i e i k
	The second second	産業廃棄物の種類		
±1	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	, ,	(これまでに実施した	取組)	7.8
		【目標】	<i>v</i> =	E 50 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
		産業廃棄物の種類)
*		自ら埋立処分又は		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
	②計画	海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t t
		(今後実施する予定の)取組)	3 2 -
	= ::			8,
			27 23 282 = 36	8
産業	業廃棄物の処理の委託 に	関する事項	2	B 11
	· ·	【前年度(令和6年度	要) 実績】	
	1 45 5 4	文业成本社。15 基	工始后在在安成在山	
	2 0.00	産業廃棄物の種類	石棉含有産業廃棄物	
		産業廃業物の種類全処理委託量	40.65 t	t
- C - T		6 3 4 20		
		全処理委託量	40.65 t	t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	40.65 t	t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	40.65 t 40.65 t	t t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用業者への 処理委託 への 処理委託 への 処理委託 への 処理委託 当 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託 量 (これまでに実施した	40.65 t 40.65 t t	t t
	① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託 型 再生利用業者への 処理委託 への 処理委託 への 処理委託 への 処理委託 当 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託 量 (これまでに実施した	40.65 t 40.65 t t	t t

自身	っ行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に	こ関する事項	
	F 7 0	【前年度(令和6年度)実績】	K N
	- 4	産業廃棄物の種類	* a e c	
* = *	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	(これまでに実施した	取組)	K - A
,	3 -	【目標】		70 2 7 0 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
-		産業廃棄物の種類		
-	7	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う	t	- t
	②計画	産業廃棄物の量	9 = u	, W = 5°
	. 4	(今後実施する予定の)取組)	g = = ×
	e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		2 8 I _ g	*.,:
産業	業廃棄物の処理の委託 に	関する事項	B T	- 10
	<u> </u>	【前年度(令和6年度	E) 実績】	
		産業廃棄物の種類	力"万久、陶磁器、可"	
	***	全処理委託量	32,2 t	t
	- × 2	優良認定処理業者への 処理委託量	16.7 t	t
	# # #5	再生利用業者への 処理委託量	5.5 t	t :
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
-		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	(これまでに実施したるを生く)	三取組) こ)	学者に排出する。
	* ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			

自ら	っ行う産業廃棄物の埋立	心分又は海洋投入処分に関す	る事項	1 - 12 /
	K. 7	【前年度(令和6年度)実統	責】	
		産業廃棄物の種類	·	10 a
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
=		(これまでに実施した取組)		8.8
				V. 100
-		【目標】	S 4 4	
	* "	産業廃棄物の種類	1	
3	②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う	t	t t
	On M	産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)		A - 1
	* * I	「一次天旭する」たい水血/		*
	1			2 2 20 0
産業	業廃棄物の処理の委託 に	関する事項		e
		【前年度(令和6年度)実統	漬】	
		産業廃棄物の種類	成経くす"	
	n.	全処理委託量	8-9 t	t
	12	優良認定処理業者への 処理委託量	ç t	t
		再生利用業者への 処理委託量	3.9 t	2 n t .
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t.	t
-	7.5	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	w B	t
		(これまでに実施した取組)		
v		家屋陶平在"安生LTC序	を棄物を再生で	\$3事業者A排的(3。
	, D =			

	【前年度(令和6年月	生) 生活	
		之)	10 20 1
	産業廃棄物の種類		%.
* *	自ら埋立処分又は	ENTERNA DE LA	3° 1
(1) THAT	海洋投入処分を行った	t	20
① 現状	産業廃棄物の量	- 9 F	
	(これまでに実施した	こ取組)	
, i (ii iv		ng kalangan at a	이 없는 사람들이
* ·	1		
3.50			
	【目標】		Office State of the Control of the C
	産業廃棄物の種類	2 3 A 3 A	
	自ら埋立処分又は	M A	·
	海洋投入処分を行う	t	E 81
②計画	産業廃棄物の量		4 1 2 1
	(今後実施する予定の	つ取組)	
i in			
		K I v	340
a ⁿ in s		e	
1 at 12		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
1	産業廃棄物の種類	一股及智术"十"	
	産業廃棄物の種類 全処理委託量	廃石育水"十" 220.8 t	
	7 2 1		
	全処理委託量	220.8 t	
	全処理委託量	220.8 t	
	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量	220.8 t 1.8 t 219 t	
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	220.8 t	
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	220.8 t 1.8 t 219 t	
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	220.8 t 1.8 t 219 t	
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の	220.8 t 1.8 t 219 t	
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熟回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	220.8 t 1.8 t 219 t t	
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 (これまでに実施した)	220.8 t 1.8 t 219 t t t	2本学长八村上山村
① 現状	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	220.8 t 1.8 t 219 t t t	る事業者へ持ち切ず

A MA
t
or year garight
i s t
t
t
\$
非出する。
. = 5 . :
į, reg
1

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	磨力又4~7维	2 2 2
	全処理委託量	72.6 t	# W
ie:	優良認定処理業者への 処理委託量	* t	
8	再生利用業者への 処理委託量	72-6 t	2 2 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	* t	2
	(今後実施する予定の	y .	
	家屋解件2"举	土口、軽摩物を再生	生3字常者人排出了
* -			

	【目標】	. 6 A 15 + 114 + 1	
	産業廃棄物の種類	石綿含有產業廃棄物	
	全処理委託量	40.65 t	t
e .	優良認定処理業者への 処理委託量	40.65 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	1 t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	* * t
	(今後実施する予定の	の取組)	
	家屋解件で"冷"	土口:軽摩物を再生で	生る事業者人排出する

	【目標】 ————————————————————————————————————	1	
-	産業廃棄物の種類	ガラス、陶磁器とす	* × ·
2	全処理委託量	32.2 t	ti :: : : : : : : : : : : : : : : : : :
32	優良認定処理業者への 処理委託量	26.7 t	
	再生利用業者への 処理委託量	5.5 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	1 7 11
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	* t	
200	(今後実施する予定の	2	
	家屋解件で发	土口、軽摩物を再生	"主3事業者人排出す
		e.	

	本米成本版の発掘	1114 4 111				
	産業廃棄物の種類	純雑 < す"				
	全処理委託量	8-9	t	15 1 25	-	t
25.	優良認定処理業者への 処理委託量	5	t			t
	再生利用業者への 処理委託量	3.9	t		117) (2) (1) N (2)	t
7 × 1	認定熱回収業者への 処理委託量		t	= 51		t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		* t	÷ .	1 349 S	ţ
	(今後実施する予定の				. ×	
	家屋解体2"举	ŁU:軽摩物を	再生"当	る學業者	八种知	913
		2			a ^c	

	++ 114 Hz += 14 15 Vz	m. # " 111	
	産業廃棄物の種類	際で南ボート"	
	全処理委託量	220.8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t,	t
9	再生利用業者への 処 理 委 託 量	219 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	* t	, t
	(今後実施する予定の	○取組)	
× 2	, t	ag .	
a , , e	家屋解(件で)发	土口:東摩物を再ち	"生3事業者人排出了
			2 H
. 6 , 5			

	(2)	(3 風)	4
	【目標】		~
	産業廃棄物の種類	かれき類	8 1,
	全処理委託量	2401.07 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	365-9 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2035,17 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t	t
	(今後実施する予定のなる)を解(体で)発り	D取組) 土口:軽摩物を再生で	主る事業者人排出する
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 6日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者 全国農業協同組合連合会長崎県本部 大村果汁工場 住 所 長崎県大村市富の原2丁目704 氏 名 工場長 中尾 真仁 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0957-55-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	全国農業協同組合連合会長崎県本部 大村果汁工場
事	業場の所在地	長崎県大村市富の原2丁目704
計	画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	[10] 飲料・たばこ・飼料製造業
	②事業の規模	2502百万円
	③従 業 員 数	6 5 名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添 図 廃棄物処理フローシート(現状) 参照

(日本産業規格 A列4番)

(A列4番) = - 7, 6, 13

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 1. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 別添 (1) 責任者及び管理組織図 参照 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和6年度)実績】 産業廃棄物の種類 別紙のとおり 排 出 量 1, 856 t t ① 現状 (これまでに実施した取組) 汚泥の脱水により排出量を抑制した。 【目標】 別紙のとおり 産業廃棄物の種類 2,690t 量 排 出 ②計画 (今後実施する予定の取組) これまで同様、汚泥の脱水による排出量の抑制に努める。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程毎に発生したものを、それぞれ分別・保管する。 別添 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 ①現状 表3 産業廃棄物の種類別発生・処理状況(令和6年度)参照 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。 ②計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
		【前年度(令和6年度	E) 実績】		
		産業廃棄物の種類	_		
(i) F	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t	
	ስህ 4/\	(これまでに実施した 特になし	上取組)		
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	-		
②計	開	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	t	
	·	(今後実施する予定の特になし)取組)		
自ら行う	産業廃棄物の中間	処理に関する事項			
		【前年度(令和6年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	汚泥		
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	
1 3	見状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	455 t	t	
(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水により排出量を抑制した。				-	
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	汚泥		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	
2計	·画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	600 t	t	
		(今後実施する予定の これまで同様、汚泥の	の取組) の脱水による排出量の抑作	制に努める	

自ら	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
		【前年度(令和6年度	〕実績 】			
	① 現状	産業廃棄物の種類	=			
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	e 	t	t	
		(これまでに実施した 特になし	取組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	=	t	t	
	-	(今後実施する予定の 特になし)取組)	,		
産業	 芝廃棄物の処理の委託に	 関する事項				
		【前年度(令和6年度	E)実績】			
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり			
		全処理委託量	別紙のとおり	t 1	t	
		優良認定処理業者への 処理委託量		t 1	t	
		再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t 1	t	
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t	
		(これまでに実施した 産業廃棄物処理委託先				

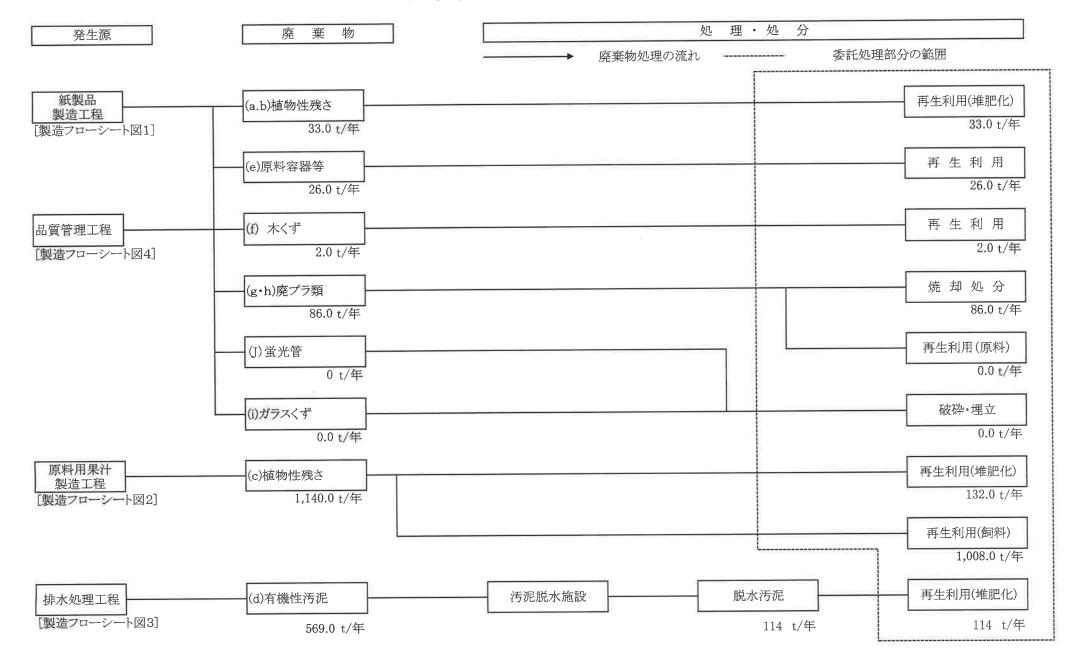
(第5面)

	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量	別紙のとおり	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t	t
②計画	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の これまで同様、処理委		す う。	
×				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図 廃棄物処理フローシート(現状)



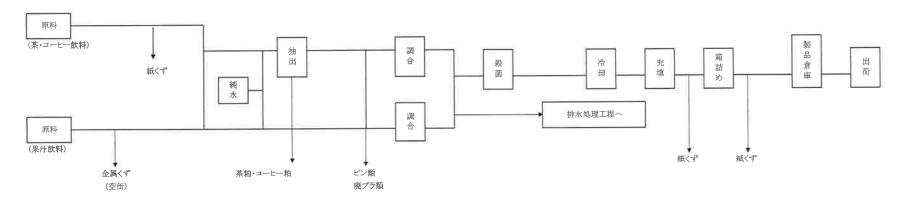


図1. 紙飲料製造フローシート

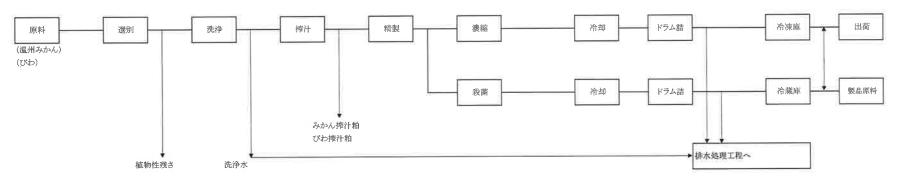


図2.原料用果汁製造フローシート

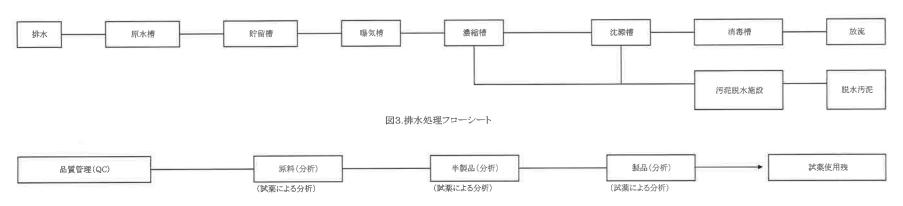


図4. 品質管理フローシート

1.産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1)責任者及び管理組織図

		所 属 全国農業協同組合連合会長崎県本部大村果汁工場						
	机拍貝江相	職・氏名 工場長 中尾 真仁						
		組織名 業務グループ						
	廃棄物担当者	職・氏名 業務グループリーダー 中尾 真仁						
		組織人数 8名						
		○廃棄物処理に関する検討						
		廃棄物の発生抑制・再生利用・中間処理・適正処理の推進・計画的						
	工場環境管理委員会	な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。						
		·委員長-工場長 ·委員-関連部署GL·審査役·副審査役·調査役						
211		・事務局ー業務グループ						
役		○廃棄物処理方針策定						
	廃棄物処理統括責任者	○工場の産業廃棄物管理規定の策定・改廃						
		○廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認						
		○廃棄物処理計画の作成						
		○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討						
		○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握						
r‡zd	廃棄物管理担当者	○処理業者・再生利用業者の調査・選定及び管理						
割		○委託契約の締結						
		○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理						
		○監督官庁への各種報告						
		○従業員・関連会社に対する教育・啓発						
		○その他関係する事項						
		廃棄物管理組織						
	J							
		易長(廃棄物処理統括責任者) 						
		~ 旧网 it / / / / / / / / / / / / / / / / / /						
		工場環境管理委員会						
	業務グループ	製造グループ 品質管理グループ 関連会社						
	廃棄物管理 素な者	産業廃棄物						
	責任者							
		I time the state of the state o						
		各生産ライン						
		廃棄物処理						
		担当者						

(2)管理体制の強化

①管理体制(組織)

工場内の各部署と協力して、廃棄物処理に対応するための横断的な組織(大村果汁工場環境管理委員会)を設置する。この組織には、工場長の常時参加及び品質管理部門の参画を図る。

②管理方法

廃棄物管理規定及び廃棄物化回避のための製品設計規定の作成について検討する。

(3)教育•研修

発生する廃棄物の種類・発生状況・処理方法・処理に関する留意事項を整理し、従業員に定期 的に教育・研修等を行う。

○管理職環境管理研修

調査役以上の職員を対象として、工場等において発生する産業廃棄物の管理、工場等において 排出される排ガスや排水の管理に係る法制度について、改正が行われる毎に実施する研修制度

○廃棄物処理基礎研修

全ての従業員及び関係業者を対象として、廃棄物関係法令・関係官庁の指導方針を周知・徹底 するための教育・研修制度

○廃棄物担当者実務研修

各製造ラインにおける廃棄物担当者を対象として、廃棄物の取扱いの実務研修制度

(4)情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生・分別・再生利用状況について情報 の公開に努める。

2. 廃棄物の処理に関する事項

(排出の抑制・分別・再生利用に関する事項を含む)

- (1)基本的事項
 - ①産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政 の環境対策に協力する。
 - ②発生した産業廃棄物は自ら処理する事を原則とし、処理業者に委託する場合であっても、収集 運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。
 - ③最終処分量の削減・再生利用量の拡大等について数値目標及びその達成時期を定め実施する。 また、これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。
 - ④廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また関連会社にも必要な指導を行う。

発生抑制

・工程内リサイクルを推進する。

・発生抑制を考慮した製造方法を検討する。

再生利用

・資源化、燃料利用を推進する。

・再生利用ルートを確保する。

中間処理

・脱水処理効率の向上等による中間処理を推進する。

その他

・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。

特別管理産業廃棄物の適正処理を確保する。

(2)廃棄物処理の現状

①当工場から発生する産業廃棄物は、原料用果汁の搾汁に伴い発生する植物性残渣のみかん搾汁粕、 びわ搾汁粕、清涼飲料水の製造過程で発生する植物性残渣の茶粕・コーヒー粕と排水処理工程からの 汚泥(有機性汚泥)等である。

これらの発生量は1,856t/年であり、そのうち植物性残渣が1,173t/年(63%)、汚泥が569t(31%)を占めている。この他木・紙くず、廃プラ類、ガラスくず合計で114t(6%)発生している。

当工場から委託処理される産業廃棄物は再生利用が1,398t(飼料1,008t、堆肥化279t、原料111t)、 焼却・埋立処分等3tである。

表2.産業廃棄物処理の内訳(令和6年度実績)

再生利用量	中間処理量	中間処理後残さ	最終処分量
1,398 t	455 t	114 t	0 t

②産業廃棄物の種類別発生・処理状況・廃棄物処理フローシート、廃棄物処理施設の設置状況、 産業廃棄物の種類別性状の説明、産業廃棄物処理の課題は以下のとおり。

表3 産業廃棄物の種類別発生・処理状況(令和6年度実績)

		発生源			処理方法(現状の工程)			
	- to the - other steers		Let., t Is	(基準量)	一凡例一			
発	棄物の種類	フロー シート図	性状	t/年	(中):中間処理 (最):最終処分			
				[構成比]	○:自己処理 ●:委託処理			
植	(a)茶粕	紙飲料工程	生粕状	33	茶粕を堆肥化 ●			
物		図1	工和机	[2%]				
性	(b)びわ粕	紙飲料工程	生粕状	8	びわ粕を堆肥化●			
残	(b) O 424H	図2		[0%]				
	(C)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	原料果汁工程	生皮状	1,132	再生利用(堆肥化)●(124 t/年)			
さ	<u>汁</u> 粕	図2	<u></u>	[61%]	再生利用(飼料) ●(1,008 t/年)			
\r_		排水処理工程		569	汚泥を脱水(中)〇			
	(d)有機性汚泥	図3	泥状	[31%]	455 t/年 ⇒ 114 t(脱水後)			
					有機性汚泥を再生利用(堆肥化)(中)●			
紙		紙飲料工程		26	再生利用(売却)			
くず	(e)紙容器	図1	固体	[1%]				
9								
木	(Aº1 1 7th	工場全体		2.0	破砕(中)●			
木くず	(f)パレット破 損		固体状	[0.1%]				
9								
	(g)シャーレ	微生物検査	固体状	3	シャーレを焼却(中)●			
ハイ				[0.1%]				
プラ	(h)プラスチッ	紙飲料工程	固体状	83	香料等の使用済みプラ容器を焼却後			
類	ク類	図1		[4%]	原料として再利用●			
ガラ	(i)ビン類	紙飲料工程	固体状	0	香料等の使用済みビンを破砕(中)●			
スく		図1		[0.0%]				
ず								
				1,856				
		合 計		[100%]				

表4 産業廃棄物の種類別性状の説明

茶飲料製造時の抽出後に発生する植物性残さである。
コーヒー飲料製造時の抽出後に発生する植物性残さである。
原料用果汁の製造時にみかん及びびわを搾汁した後に発生する植物性残さである。
工場内で発生した排水を処理する際に発生する汚泥を脱水処理したものである。
原材料等の容器で再生紙・熱回収等になる。
パレット等の破損時に発生する木屑で、再生利用・再生紙原料となる。
製品の微生物検査に使用したプラスチックシャーレである。
原材料使用後に発生したプラスチック容器類である。
製品の製造に使用した香料等の使用済ガラス容器類および瓶製品の空瓶である

表5 産業廃棄物処理の課題

発生抑制	みかんの搾汁量が年々減少することにより発生の抑制を図る。 しかし、生産状況(表・裏)や市況により搾汁量が大きく変わる要因あり。
再生利用	①再利用可能な原材料容器の導入 ②植物性残さについては、水分量の調整を行うことで再生利用の推進を行う。
中間処理	発生量の多い植物性残さについては、水分量の調整(脱水・乾燥)機械の導入により排出量の抑制を図る。
その他	委託業者との処理方法についての情報交換を行うことにより効率化を図る。

(3)目標の設定

排出量が多い植物性残さについては、スクリュープレスによる排出量の抑制が可能であることから 産廃の減量を検討している。

(4)産業廃棄物処理施設の設置状況

当該工場における産業廃棄物処理施設の設置状況を表6に示す。現在汚泥の脱水施設は 有機性汚泥の脱水施設が1施設である。

表6 産業廃棄物処理施設の設置状況

施設名	処理対象 産業廃棄物	処理方法	処理能力 (脱水前)	設置年月日	設置場所
汚泥の脱水施設1	汚泥	多重円盤方式	33t/日	H.24.10.5	工場内

注)廃棄物処理フローシート(図5)の汚泥脱水施設の更新

(5)廃棄物の処理に係る情報の収集・管理

定期的に廃棄物関係法令や廃棄物処理技術について情報を収集及び取り纏めを行い、 各従業員に提供する。

(6)中長期的課題

- ①環境管理・監査システムの導入構築 ISO22000システムを参考に工場での管理・監査システムを構築
- ②自主管理基準の設定 工場における自主的な管理基準を設定し、環境管理レベルの向上を図る。
- ③環境に係る社会活動への積極的な参加

環境に配慮した製品等の開発など環境イベントの参加・協力を積極的に進める。

産業廃棄物処理計画書

2025(令和7)年 6月 23日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

提出者

住 所 長崎県長崎市元船町14番10号

氏 名 セキスイハイム九州株式会社 長崎支店 営業部長 山添 秀利

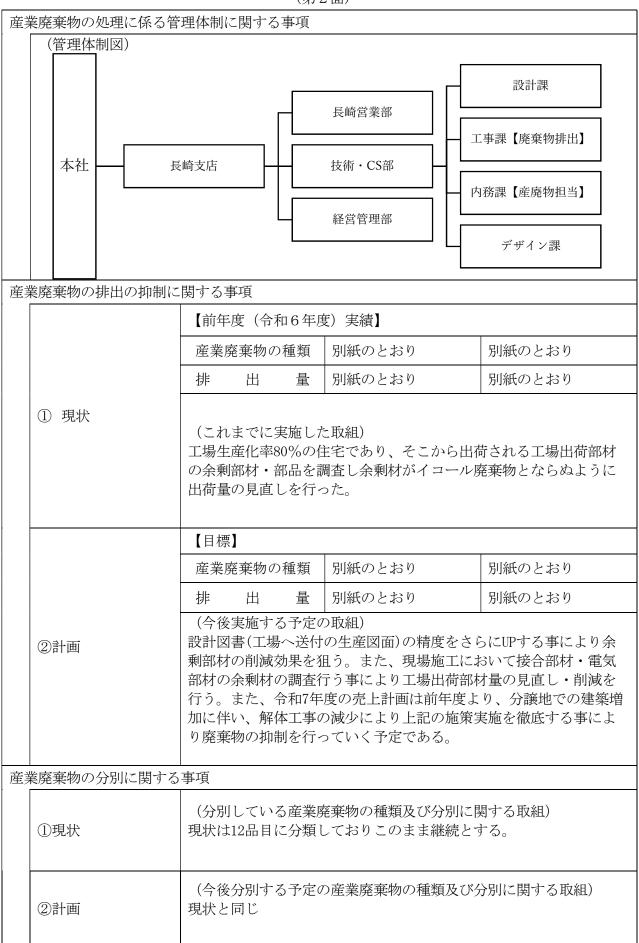
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 095-826-0816

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	セキスイハイム九州株式会社 長崎支店
事	業場の所在地	長崎県長崎市元船町14番10号
計	画 期 間	2025(令和7)年4月1日~2026(令和8)年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	総合工事業
	②事業の規模	資本金3億円、売上高389億円(いずれも全九州において)
	③従 業 員 数	全九州429名(内長崎支店50名)
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	新築・解体廃材

(日本産業規格 A列4番)



自	っ 行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項								
		【前年度(令和6年度))実績】							
		産業廃棄物の種類	_	_						
	① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
	10 先代	(これまでに実施した) 特になし	取組)							
		【目標】								
		産業廃棄物の種類	-	-						
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
		(今後実施する予定の) 特になし	取組)							
自										
		【前年度(令和6年度))実績】							
		産業廃棄物の種類	_	-						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
	① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
		(これまでに実施した) 特になし	取組)							
		【目標】								
		産業廃棄物の種類	-	_						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
		(今後実施する予定の) 特になし	取組)							

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項							
		【前年度(令和6年度	度)実績】							
		産業廃棄物の種類	_	_						
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
		(これまでに実施した 特になし	上取組)							
		【目標】								
		産業廃棄物の種類	_	_						
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t						
		(今後実施する予定の 特になし)取組)							
産業	養廃棄物の処理の委託に	関する事項								
		【前年度(令和6年度)実績】								
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり						
		全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり						
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり						
		再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり						
	① 現状	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり						
		処理委託量		別紙のとおり						
		の余剰部材・部品を訓	上取組) 主宅であり、そこから出れ 間査し、余剰材がイコー/ かを定期的に行っている。	レ廃棄物とならぬよう						

(第5面)

	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	Э Щ/		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり	
	全処理委託量	別のとおり	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙() と ち ()		
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり	
		直接の関与はできないな を義務付けし、再生できる	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自 ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、 自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入 すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項及び、産業廃棄物の 【令和6年度(2024年度)実績】

産業	廃棄物種類	①廃プラス チック	②紙くず・ダ ンボール	③木くず・伐 採材	④金属くず	⑤ガラス・コン クリート・陶磁 器くず	⑥石膏ボード	⑦がれき類・ コンクリート破 片	ト・コンクリー	⑧安定型建 設混合廃棄 物	⑨繊維くず	⑩石綿含有 産業廃棄物	①水銀使用 製品産業廃 棄物	⑫太陽光	混合廃棄物	合計
排出量(t)		79.415	50.7	177.89	14.036	10.3	26.84	834.276	8	0.026	36	1.48	0	0	0.598	1239.561
全処	理委託量	79.415	50.7	177.89	14.036	10.3	26.84	834.276	8	0.026	36	1.48	0	0	0.598	1239.561
	優良認定処理業者へ 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者への 処理委託量	U	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱業者以外への 熱回収を行う業者へ の処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【令和7年度(2025年度)計画】

産業	廃棄物種類	①廃プラス チック	②紙くず・ダ ンボール	③木くず・伐 採材	④金属くず	⑤ガラス・コン クリート・陶磁 器くず	⑥石膏ボード	⑦がれき類・ コンクリート破 片	⑦アスファル ト・コンクリー ト(再生可)	⑧安定型建 設混合廃棄 物	⑨繊維くず	⑩石綿含有 産業廃棄物	⑪水銀使用 製品産業廃 棄物	⑫太陽光	混合廃棄物	合計
排出量(t)		75	40	150	14	10	20	600	5	0.1	25	1	0	0	0.3	940.4
全処理委託量		75	40	150	14	10	20	600	5	0.1	25	1	0	0	0.3	940.4
	優良認定処理業者へ 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処 理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱業者以外への 熱回収を行う業者へ の処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0